

業務棚卸表を活用した行政評価
結果報告書
(平成22年度実施分)

平成22年10月

総務企画部 総務課

目次

1. 「PDCA サイクル」と業務棚卸表を活用した行政評価・・・1
2. 評価結果の概要・・・・・・・・・・2

1 「PDCAサイクル」と業務棚卸表を活用した行政評価

PDCAサイクルとは（定義）・・・

| | |
|-------|-------------------------------|
| P（計画） | ：従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成する |
| D（実行） | ：計画に基づき業務推進 |
| C（評価） | ：業務の実施が計画に沿っているかどうかを確認する |
| A（改善） | ：実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする |

この4つのサイクルを順次行いながら、次のPDCAサイクルにつなげ、螺旋を描くように1周ごとに向上させ、継続的に業務改善する。

業務棚卸表を活用した行政評価に当てはめると・・・

P（計画）：業務体系図、改善計画シート、業務棚卸表（個表）の作成（＝セオリー評価）

☆セオリー評価とは・・・

- ①当初予算等を踏まえ、業務体系図を作成し、可視化を図る
- ②全ての業務が可視化されるため、改善計画シートを作成し、実施手段の最適化を図る
- ③最適化された業務体系図やこれまでの成果を踏まえ業務棚卸表（個表）を作成する（＝実質的な作戦書となる。）

※セオリー評価において作成する業務体系図、業務棚卸表（個表）については公表をしています。菊川市のホームページでご確認ください。

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/soumu/hyoukakekka22.html>

D（実行）：P（計画）で作成されたシートに基づき業務推進

C（評価）：業務棚卸表（総括表）の作成（＝プロセス評価）

☆プロセス評価とは・・・

- ①前年度までの成果を分析
- ②現在の取り組みの考察、課題の整理
- ③上記①、②を受け、次年度以降の改善措置を明確にする。

A（改善）：業務棚卸表（総括表）に基づいて、次年度の取り組み（予算）へ反映

今回の報告については、業務棚卸表を活用した行政評価結果のうち、プロセス評価について報告します。

2 評価結果の概要

業務棚卸表を活用した行政評価では、総合計画に掲げられた目標の成果（成果指標、主に市民アンケート結果[※]）や達成する手段（活動指標）について管理指標を設け、できる限り数値化し、成果を把握しています。

今回は、総合計画に掲げられた21の目的ごとに、数値化された成果について報告するとともに、成果に基づき行ったプロセス評価の結果についても併せて報告します。

※市民アンケート結果について

菊川市では、総合計画の取組みについて、市民の暮らしの中でどのように実感され、どのような成果が上がっているのかを把握し、今後のまちづくりに反映させるため、市民アンケートを実施しています。

業務棚卸表では、総合計画に掲げられた目標の成果を測る管理指標として、この市民アンケート結果を活用し、総合計画策定以前に実施したアンケート結果と比較することで、その進捗を測っています。

●市民アンケート 調査概要

| | 調査概要 |
|------|----------------------|
| 調査対象 | 菊川市に住む20歳以上の市民 |
| 標本数 | 2,000人 |
| 抽出方法 | 無作為抽出 |
| 実施方法 | 郵送による送付、回収 |
| 調査期間 | 平成22年4月1日～平成22年4月30日 |
| 回収率 | 40.5%（回収数：809通） |

●業務棚卸表 整理表（21の目的別）

| 総合計画に掲げられた21の目的 | 課名 | 係名 | シートNo. | ページ |
|---|----------------|--------------|--------|-----|
| 1 自主的な参画による市民活動組織が生まれ、多様な市民活動が行われる社会の実現 | 地域支援課 | 地域振興係 | 1/2 | 6 |
| 2 互いの文化や習慣の違いを尊重し、誰もが安心して暮らせる社会の実現 | 地域支援課 | 多文化共生係 | 1/1 | 7 |
| 3 男女が個人として尊重され、ともに能力の発揮できる社会の実現 | 企画政策課 | 企画係 | 2/8 | 8 |
| 4 市民と行政が深い信頼関係で結ばれており、多様なニーズに対応できる自治体の構築 | 総務課 | 行財政改革係 | 1/1 | 9 |
| | 企画政策課 | 秘書情報係 | 1/7 | 10 |
| | 企画政策課 | 秘書情報係 | 2/7 | 11 |
| 5 子ども、高齢者、障害者など誰もが地域社会において安心していきいきと暮らすことができる社会の実現 | 福祉課 | 社会福祉係 | 1/2 | 12 |
| | 福祉課 | 社会福祉係 | 2/2 | 13 |
| | 福祉課 | 障害者福祉係 | 1/1 | 14 |
| | 健康長寿課 | 健康増進係 | 1/1 | 15 |
| | 健康長寿課 | 高齢者福祉・包括支援係 | 1/1 | 16 |
| | 健康長寿課 | 介護保険係 | 1/1 | 17 |
| | こどもみらい課 | 子育て支援・子育て相談係 | 1/1 | 18 |
| 6 「確かな学力と思いやりに満ちた学校づくり」を実現する | 学校教育課 教育総務課 | | 1/1 | 19 |
| | 給食センター | 庶務管理係 | 1/1 | 20 |
| 7 健康で豊かな心を育み、市民一人ひとりが生きがいを持って生活できる社会の実現 | 社会教育課 | スポーツ振興係 | 1/1 | 21 |
| | 社会教育課 | 社会教育係 | 1/3 | 22 |
| | 社会教育課 | 社会教育係 | 2/3 | 23 |
| | 社会教育課 | 社会教育係 | 3/3 | 24 |
| | 社会教育課 | 文化振興係 | 1/1 | 25 |
| 8 市民の主体的な学習意欲に応え、市民が心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現 | 菊川文庫・小笠図書館 | | 1/1 | 26 |
| 9 「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など良い環境が保たれている社会の実現 | 下水道室 | 事業・庶務係 | 1/1 | 27 |
| | 農林課 | 農業係 | 2/3 | 28 |
| | 農林課 | 農業係 | 3/3 | 29 |
| 10 環境への負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会の実現 | 環境推進課 | 環境推進・環境政策係 | 1/1 | 30 |
| 11 農地生産基盤の整備を行うとともに、次世代農業を進め、安心・安全な生産を行い、消費者から信頼される産地づくりの実現 | 農林課 | 農業係 | 1/3 | 31 |
| | 農林課 | 土地改良係 | 1/1 | 32 |
| | 茶業振興室 | 茶業振興係 | 1/1 | 33 |
| 12 市内に魅力と活気がある商店街があふれている状態 | 商工観光課 | 商工係 | 1/3 | 34 |

●業務棚卸表 整理表（21の目的別）

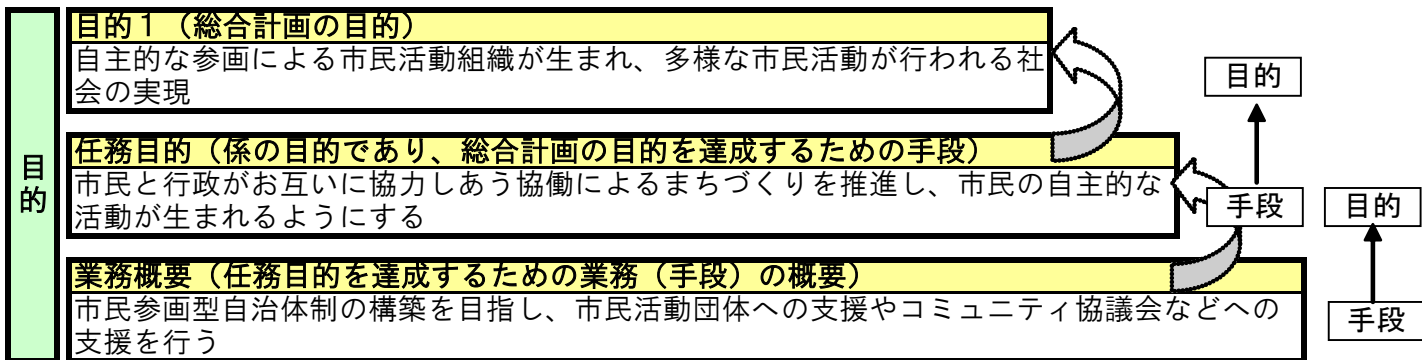
| 総合計画に掲げられた21の目的 | 課名 | 係名 | シートNo. | ページ |
|--|-------|-------|--------|-----|
| 13 企業誘致・新産業創出など工業が発展し、市内経済の安定と活性化が図られる社会の実現 | 商工観光課 | 商工係 | 2/3 | 35 |
| 14 観光交流が持続的に拡大する魅力ある地域の実現 | 商工観光課 | 観光係 | 1/1 | 36 |
| 15 市内の均衡ある発展と都市機能と自然環境が共生する社会の実現 | 企画政策課 | 企画係 | 3/8 | 37 |
| | 都市計画課 | 都市計画係 | 3/3 | 38 |
| 16 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、菊川市の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与する | 都市計画課 | 都市計画係 | 1/3 | 39 |
| | 都市計画課 | 都市整備係 | 2/2 | 40 |
| | 都市計画課 | 区画整理係 | 1/1 | 41 |
| 17 市内外へのアクセスを容易にすることで、円滑な交通体系を確立するとともに、人や物の交流を活性化させる | 建設課 | 整備係 | 1/3 | 42 |
| 18 市民の安らぎの場であるとともに、都市の景観向上スペースとしての役割を担う公園づくり | 都市計画課 | 都市整備係 | 1/2 | 43 |
| 19 市民の交通安全意識の高揚や防犯意識の向上などにより、安全に暮らせる社会の実現 | 安全課 | 交通防犯係 | 1/1 | 44 |
| | 建設課 | 整備係 | 2/3 | 45 |
| 20 交通空白・不便地域がある程度解消され、交通サービスを誰もが利用しやすい社会の実現 | 総務課 | 行政係 | 2/3 | 46 |
| | 地域支援課 | 地域振興係 | 2/2 | 47 |
| 21 市民の生命と財産を守るため、地震などの災害被害の軽減が図られる社会の実現 | 安全課 | 防災係 | 1/1 | 48 |
| | 建設課 | 管理係 | 2/2 | 49 |
| | 建設課 | 整備係 | 3/3 | 50 |
| | 都市計画課 | 都市計画係 | 2/3 | 51 |

【表の見方】

| | | |
|----|--|-------------------------------------|
| 目的 | 目的4（総合計画の目的） ※総合計画の目的が記載されています。 | 目的 ↑ 手段 ↑ 目的 ↑ 手段 |
| | 任務目的（係の目的であり、総合計画の目的を達成するための手段） ※係の目的であり、総合計画の目的を達成する手段が記載されています | |
| | 業務概要（任務目的を達成するための業務（手段）の概要） ※任務目的を達成するための業務（手段）の概要が記載されています | |

| | | | | | | | | |
|------------|--|-----------|-----------|-----|-----|---------|---------------|---------------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 ※ここでは、取り組んだ業務の成果として、総合計画、任務目的、業務概要の進捗状況をそれぞれに数値化し、記載しています。 【例】菊川市に住み続けたいと思う人の割合 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | | ※H20実績を記載 | ※H21実績を記載 | | | ※目標値を記載 | ※目標を達成する期限を記載 | ※目標に対する達成度を記載 |
| | | 77.7% | 75.8% | | | 77.1% | 23年度 | 98.3% |
| | 任務目的の成果指標 【例】行政への関心度（アンケート回収率） | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | | 45.1% | 40.4% | | | 60.0% | 23年度 | 67.3% |
| | 業務概要の活動指標 【例】業務改善報告件数（累計） | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | | 117 | 218 | | | 510 | 24年度 | 42.7% |

| | | |
|---|---|--|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 ※担当課名を記載 | 関連する業務棚卸表（個表） ※関連する業務棚卸表（個表）のシート番号を記載 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） ※平成21年度の成果を受け、その原因や課題についての分析結果が記載されています。この分析は、PDCAサイクルのうち、「C（評価）」に該当します。 | |
| | 【評価②】平成22年度の取組（前年度からの改善措置を踏まえて） ※平成22年度の取り組み状況について記載されています。 | |
| 【評価③】平成23年度の取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） ※上記の2つの評価を受け、平成23年度の取り組みについて記載されています。なお、この評価結果を平成23年度当初予算要望に活用することとなります。（必ず予算に反映されるものではありません。） | | |



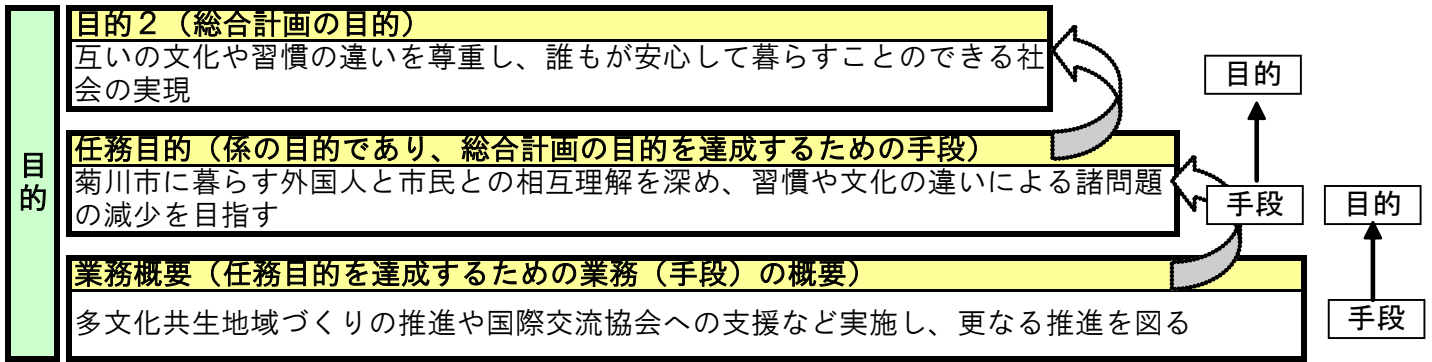
| 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| ボランティア等の市民活動が活発であると思う人の割合 | 41.0% | 42.9% | | | 44.7% | 23年度 | 96.0% |
| コミュニティ(人と人との交流、助け合い)が活発だと思ふ人の割合 | 68.5% | 69.1% | | | 66.9% | 23年度 | 103.3% |
| 地区の特性を活かしたまちづくりが行われていると思ふ人の割合 | 51.3% | 53.8% | | | 47.2% | 23年度 | 114.0% |
| 若い世代が地域で行っている活動へ参加していると思ふ人の割合 | 41.3% | 37.9% | | | 35.6% | 23年度 | 106.5% |
| 下関市や小谷村など他の市町村の住民との交流が盛んであると思ふ人の割合 | 37.6% | 45.1% | | | 33.3% | 23年度 | 135.4% |

| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| 地域づくり交付金申請件数 | 未実施 | 54 | | | 43 | 21年度 | 125.6% |

| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|--------|
| コミュニティ協議会数 | 5 | 11 | — | — | 11 | 21年度 | 100.0% |

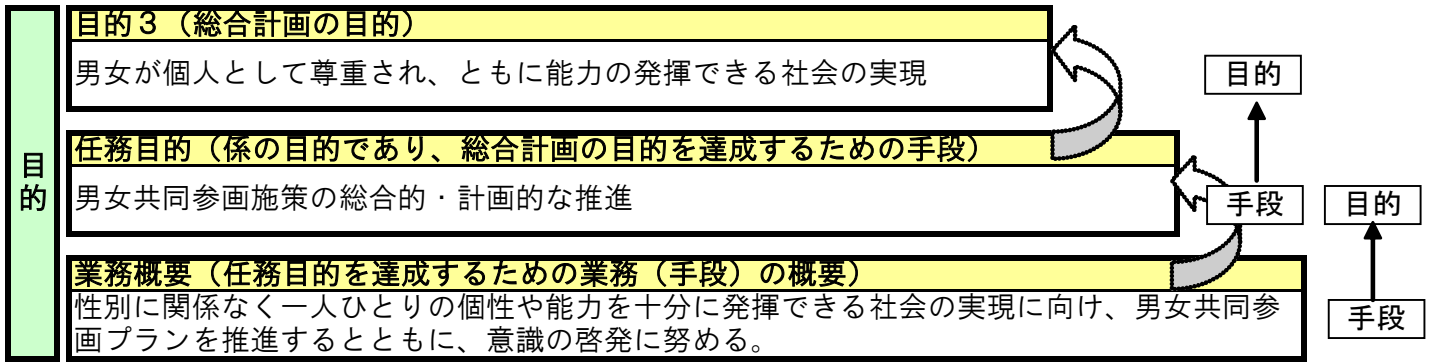
| | |
|-------------------------------|---|
| 評価担当部・課 市民生活部 地域支援課 | 関連する業務棚卸表(個表) 市民生活部 地域支援課 地域振興係 1/2 |
|-------------------------------|---|

| | |
|-------------------|--|
| 評価(プロセス評価) | 【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当) 「ボランティア等の市民活動が活発であると思う人の割合」や「コミュニティ(人と人との交流、助け合い)が活発だと思ふ人の割合」が増加傾向にある(前年度比較)。これは地域を核とするコミュニティ協議会の活動や1%地域づくり活動交付金制度を活用した活動が始まったことによる表れと考えられる。また、若い世代が地域への参加していると思われる割合については減少傾向にあり、今後地域活動の成熟具合により若者参加を地域の課題として協議会定例会などで働きかける等の必要がある。 |
| | 【評価②】平成22年度取組(前年度からの改善措置を踏まえて) 地域コミュニティづくりの指針に基づき地域を核としたコミュニティ協議会の推進を行っており、地域とのつながりを持つため各協議会で開催される定例会に参加し、地域との信頼関係を築くべく、地域からの情報収集と、行政からの情報伝達に努めている。地域担当職員制度については、平成23年度実施に向け現在関係部所と協議を行っている。各地区コミュニティ協議会懇話会の開催についても検討を進めている。また、1%地域づくり活動交付金については、コミュニティ協議会の現状を鑑み概算払いの運用改善を行った。 |
| | 【評価③】平成23年度取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当) 全ての地区にコミュニティ協議会が設立されたことにより、今後は協議会の熟成が進むよう引き続き定例会に参加し情報の共有に努めて行く。地域担当職員制度の実施に併せ、庁舎内コミュニティ活動支援検討会の設置を検討するなど総合支援の体制の構築を目指していく。 |



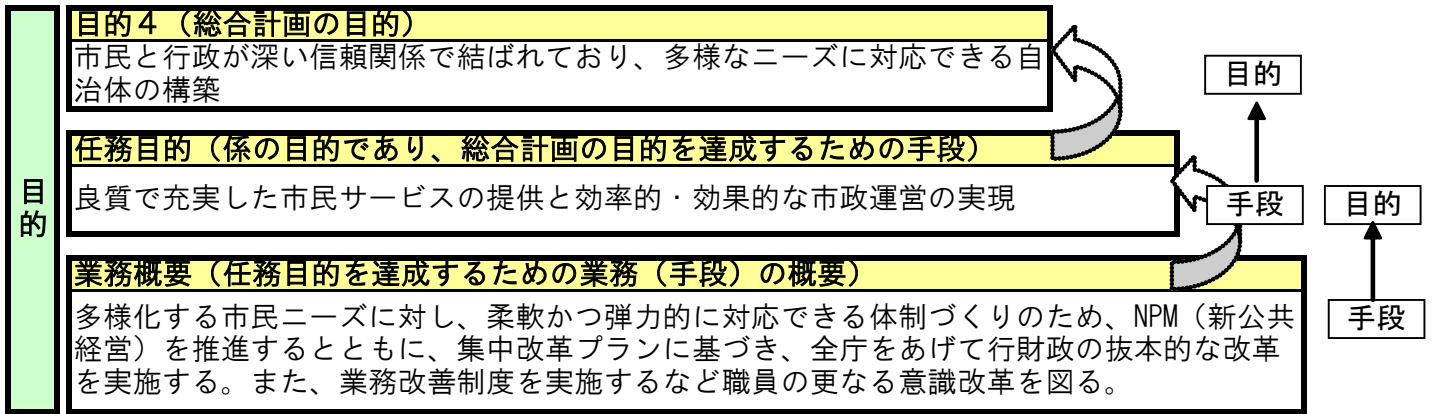
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|---------------------------|-------|-------|-----|-----|--------|------|--------|
| | 市内に住む外国人が受け入れられていると思う人の割合 | 44.3% | 46.1% | | | 35.4% | 23年度 | 130.2% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 行動計画実施率 | 26.6% | 54.3% | | | 100.0% | 24年度 | 54.3% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| — | — | — | — | — | — | — | — | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|--|--|------------------------|
| | 市民生活部 地域支援課 | 市民生活部 地域支援課 多文化共生係 1/1 |
| | 【評価手順①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | <p>総合計画の管理指標である市民満足度 (アンケート調査結果) については、目標実績を上回っているが、前年度からほぼ横ばい状態 (2ポイント増) である。経済情勢の厳しいなか、帰国する外国人や仕事を求めて、市内外への転入・転出を繰り返す外国人も多く、地域との交流機会の不足などから相互理解が図られないことが市民満足度に結びついていない。今後においては、景気回復と共に雇用の安定が重要であり、生活基盤が安定しないことには、地域との交流がスムーズに進まないと思われるが、地域が行う事業 (交流) には支援及び連携して継続的に取り組むことが必要である。</p> | |
| 【評価手順②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>「菊川市多文化共生推進行動指針」の実施状況については、各課において、概ね計画的に実施していただき、職員の多文化共生における意識向上に繋がっている。また、外国人が地域住民の一員として生活できるように、充実したサービスの提供として、多言語版「暮らしの便利帳」 (ポルトガル語・英語・中国語) を作成し、日本語の不自由な転入外国人に対し、オリエンテーションや菊川市での生活・行政サービス等の情報提供を行い理解を深めていただく。 (公共施設などに配置したり、自治会をおして外国人住民に配布)</p> | | |
| 【評価手順③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| <p>今後についても、引き続き経済情勢等外国人の動向を分析するとともに 「菊川市多文化共生推進行動指針」の事業計画の見直しも視野に入れ庁舎内検討委員会にて検討する。また、情報提供の推進と行政サービスや生活上のルール of 周知等継続的な取り組みを進めていく。</p> | | |



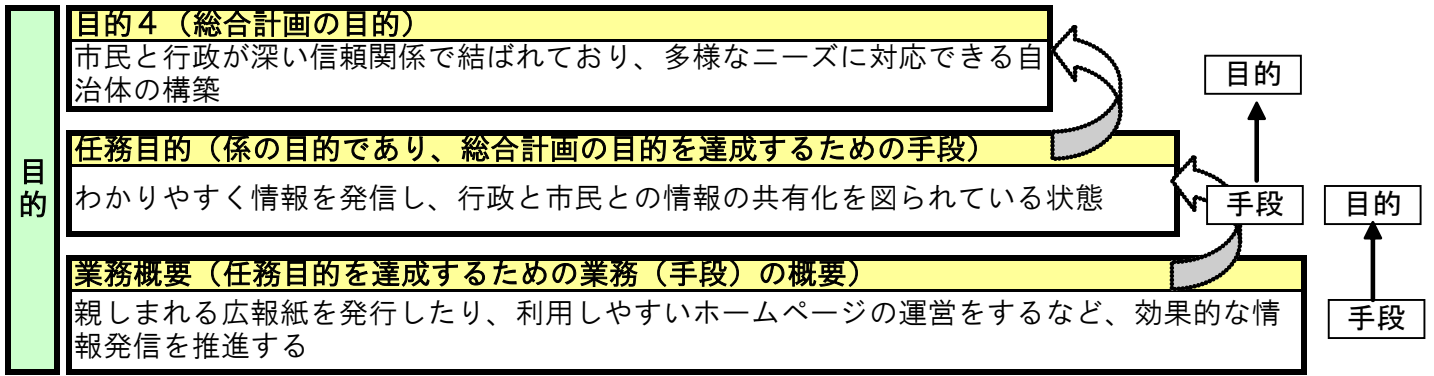
| 取り組んだ業務の成果 | 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|---------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| | 性別に関係なく個性や能力を発揮できると思う人の割合 | 46.9% | 52.4% | | | 49.2% | 23年度 | 106.5% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体数 | 5 | 6 | | | 10 | 23年度 | 60.0% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 審議会等への登用率 | 17.8% | 25.3% | | | 25.0% | 23年度 | 101.2% | |

| 評価(プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|---|---|---------------------|
| | 総務企画部 企画政策課 | 総務企画部 企画政策課 企画係 2/8 |
| | 【評価手順①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当) | |
| | <p>男女が個人として尊重され、ともに能力の発揮できる社会の実現のため、平成18年に男女共同参画プランを策定し、4つの基本理念に基づく施策を推進してきた。その結果、仕事と育児・介護とが両立できるような様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働きを労働者が選択できるような取り組みを行う企業(ファミリーフレンドリー企業)や政策・方針決定過程への女性の参画が少しずつではあるが増えてきている。</p> <p>しかしながら、「男だから、女だから」といった固定的な性別役割分担の意識は家庭や地域社会に根強く残っている。このため、家庭、地域社会、学校などのあらゆる場をとおして、人権や生命の尊重に関する意識づくりや男女共同参画を推進する教育・学習が必要である。また、現在のプランが本年度までの計画であり見直す必要があるが、国も現在、男女共同基本計画の見直しを行っているため、その動向を踏まえながら、新たな計画を策定する必要がある。</p> | |
| 【評価手順②】平成22年度 of 取組(前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>男女共同参画社会づくり宣言事業所を着実に増やすことができるよう、企業等への啓発活動に努める。また、審議会等への女性登用率がさらに向上するよう関係各課及び関係団体等に働きかけていく。</p> <p>また、平成18年度に策定した第一次のプランの取り組み期間が本年度で終了するため、第二次男女共同参画プランの策定を進める。</p> | | |
| 【評価手順③】平成23年度 of 取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当) | | |
| <p>本年度、第二次男女共同参画プランの策定を進めているが、策定にあたっては一次のプランの取り組みや国の基本計画の見直し状況を踏まえた上で、新たな方針を定め、男女共同参画の目標である男女が個人として尊重され、ともに能力の発揮できる社会を実現するための具体的な取り組みを進めていきたい。</p> | | |



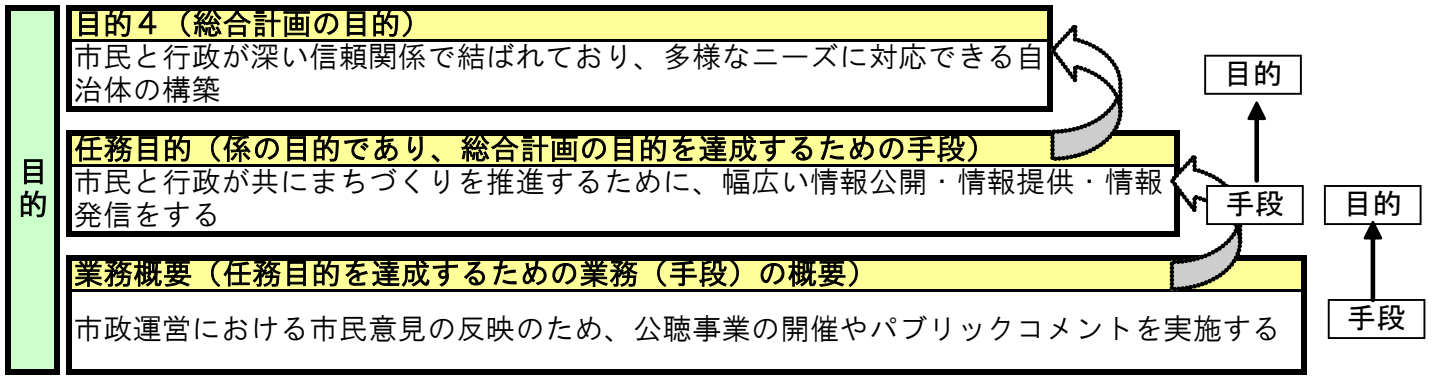
| 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|----------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 菊川市に住み続けたいと思う人の割合 | 77.7% | 75.8% | | | 77.1% | 23年度 | 98.3% |
| 効率的な運営が行われていると思う人の割合 | 35.5% | 40.8% | | | 34.3% | 23年度 | 119.0% |
| 公共サービスが利用しやすいと思う人の割合 | 50.6% | 55.9% | | | 48.8% | 23年度 | 114.5% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 行政への関心度 (アンケート回収率) | 45.1% | 40.4% | | | 60.0% | 23年度 | 67.3% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 指定管理者導入施設数 (累計) | 5 | 6 | | | 6 | 22年度 | 100.0% |
| 業務改善報告件数 (累計) | 117 | 218 | | | 510 | 24年度 | 42.7% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|--------------------|---|
| 総務企画部 総務課 | 総務企画部 総務課 行財政改革係 1/1 |
| 評価 (プロセス評価) | <p>【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当)</p> <p>「効率的な運営が行われていると思う人の割合」や「公共サービスが利用しやすいと思う人の割合」は増加傾向にある。これは、職員が一丸となって第1次集中改革プランを推進したことにより、業務の効率化を図りつつ、市民サービスの質を向上させた結果であると考えられる。なお、「菊川市に住み続けたいと思う人の割合」については、高い水準を保っているものの、前年度より減少しているため、市民の満足度向上のための新たな施策に取り組む必要があり、そのために必要な人員あるいは財源を捻出するため、更なる改革が必要である。</p> |
| | <p>【評価②】平成22年度取組 (前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>平成21年度に第1次集中改革プラン (H17~H21) の計画期間が終了し、更なる改革を推進するため、第2次集中改革プラン (H22~H24) を策定した。現在は、第2次集中改革プランに掲げられた計画項目について推進している。また、更なる効率的な運営を図るため、業務棚卸表を活用し、民間委託の可能性のある公の施設や事務事業について調査している。</p> |
| | <p>【評価③】平成23年度取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当)</p> <p>引き続き、第2次集中改革プランを着実に推進し、継続的な改革・改善を進め、良質で充実した市民サービスの提供と効率的・効果的な市政運営の実現を目指す。</p> |



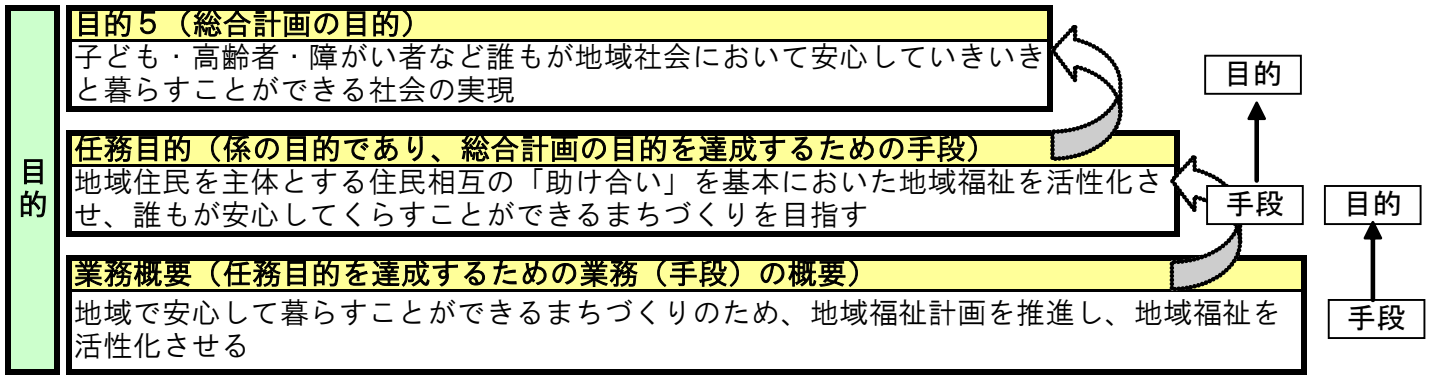
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|---|-------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| | 菊川市に住み続けたいと思う人の割合 | 77.7% | 75.8% | | | 77.1% | 23年度 | 98.3% |
| | 知りたいときに市の情報が得られると思う人の割合 | 50.6% | 56.5% | | | 51.0% | 23年度 | 110.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 広報アンケートで「読みやすい」又は「どちらか」と読みやすいと答えた人の割合 | 50.8% | 52.3% | | | 66.7% | 23年度 | 78.4% | |
| | 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 広報アンケートで「どの記事もよく読む」又は「必要・関心のあるものだけ読む」と答えた人の割合 | 90.7% | 90.5% | | | 90.0% | 23年度 | 100.6% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|--|---|-----------------------|
| | 総務企画部 企画政策課 | 総務企画部 企画政策課 秘書情報係 1/7 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | <p>総合計画の管理指標である市民満足度 (アンケート結果) の「知りたいときに市の情報が得られると思う人の割合」については、昨年度と比較するとやや向上している。</p> <p>第1次集中改革プランにおいて、「情報の提供方法・手段の拡大による行政運営の透明性の確保」を目標に掲げ、「機能的・効果的な広報紙の発行」「ホームページの充実」に取り組んでいる。広報紙は、「平成21年度静岡県広報コンクール」において、最優秀賞 (広報紙の部) を受賞した。また、ホームページに関しては、さらに情報発信力を高めるため、21年11月から全面リニューアルを実施した。</p> | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>広報紙に関しては、常に「読みやすさ」を考えて編集発行しているが、広報アンケートの結果を見ると、さらに研鑽・工夫が必要であると判断される。また、ホームページに関しては、全面リニューアルにより情報の即時性は向上したが、検索性の向上も含め、市側の情報発信力をアップしていく必要がある。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| <p>平成21年度に組織した「広報・ホームページ委員会」を活用し、情報担当課である企画政策課はもとより、全庁にわたり“情報発信力”を高めていくための研修会を開催する。また、広報協会等が実施する研修会にも積極的に参加し、スキルアップを図っていく。</p> | | |



| 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|--|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 市への意見や委員募集など、企画段階から意見を言う機会があると思う人の割合 | 30.0% | 34.6% | | | 29.4% | 23年度 | 117.7% |
| まちづくり懇談会や出前講座、広報紙・ホームページ等で市のやっていることがよくわかると思う人の割合 | 60.7% | 68.1% | | | 62.1% | 23年度 | 109.7% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 行政への関心度(アンケート回収率) | 45.1% | 40.4% | | | 60.0% | 23年度 | 67.3% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| まちづくり懇談会参加者数 | 726 | 543 | | | 739 | 23年度 | 73.5% |
| パブリックコメント実施件数 | 2 | 1 | | | 3 | 23年度 | 33.3% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|-------------|--|
| 総務企画部 企画政策課 | 総務企画部 企画政策課 秘書情報係 2/7 |
| 評価(プロセス評価) | <p>【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当)</p> <p>総合計画の管理指標である市民満足度(アンケート結果)については、初年度実績と比較するとほぼ横ばいだが、まちづくり懇談会への参加者数が減少している。まちづくり懇談会は、テーマを設けて(今年度は「地域医療を守り、育てる」)開催し、参加者からは概ね好評をいただいた。また、パブリックコメント制度は、22年度からの正式導入となるが、本年度は「環境基本計画」の策定に関してパブリックコメントを試行した。ご意見箱やホームページに寄せられたご意見は、企画政策課から各課に分けられ、必要に応じて回答をしている。</p> |
| | <p>【評価②】平成22年度の実績(前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>まちづくり懇談会により多くの方へ出席いただくための方策として、市民の皆さんが関心ある身近なテーマを設け開催した。また、パブリックコメント制度は、試行期間での実績を検証するなか、22年4月の導入に向け、実施要綱の制定、職員への説明会、広報紙やホームページによる周知を実施した。ホームページからいただく「市政へのご意見やご質問」は、21年11月のホームページリニューアルにより、直接担当課に送信されるため、回答に要する時間が短縮された。</p> |
| | <p>【評価③】平成23年度の実績(「PDCA」の「A(改善)」に該当)</p> <p>まちづくり懇談会については、市民の皆さんがより出席しやすい開催日時や関心のあるテーマの設定をする。また、パブリックコメント制度は、常に成果の検証・改善をしながらより良い制度としていく。</p> |



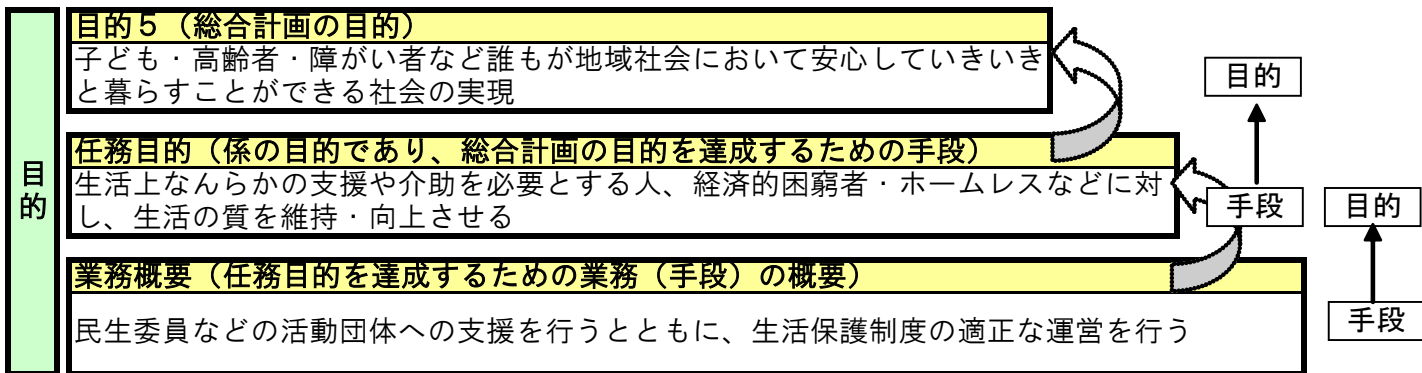
| 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 福祉活動に地域ぐるみで取り組んでいる人の割合 | 46.8% | 49.7% | | | 48.2% | 23年度 | 103.1% |

| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|----------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 近隣に非常に親しい・親しくつきあっている人がいる割合 | 76.5% | 74.5% | | | 50.0% | 23年度 | 149.0% |
| 総世帯数に対する自治会加入世帯の割合 | 85.0% | 85.0% | | | 85.0% | 23年度 | 100.0% |
| 地区センター・公民館を利用したことがある人の割合 | 71.8% | 76.9% | | | 80.0% | 23年度 | 96.1% |
| 地域活動に参加したことがある人の割合 | 38.5% | 41.3% | | | 65.0% | 23年度 | 63.5% |
| 障がいを持った人に対する隔たりを感じる人の割合 | 46.3% | 42.4% | | | 50.0% | 23年度 | 84.8% |

| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-----------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 地域福祉計画実施率 | 10.0% | 10.0% | | | 10.0% | 21年度 | 100.0% |

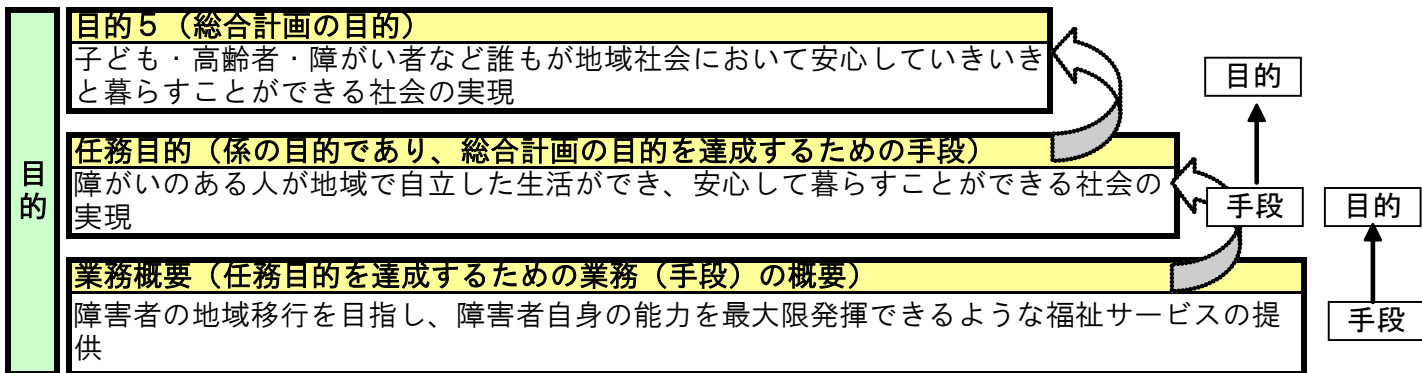
| | |
|-----------------------------|--|
| 評価担当部・課 市民生活部 福祉課 | 関連する業務棚卸表 (個表) 市民生活部 福祉課 社会福祉係 1/2 |
|-----------------------------|--|

| | |
|--------------------|---|
| 評価 (プロセス評価) | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度 (アンケート結果) については、横ばい傾向である。地域福祉の活動に参加しているという意識を直接感じないで地域福祉活動を行っている人が多い。また、地域により活動の程度に格差がある。 |
| | 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) |
| | 菊川市災害時要援護者支援計画に基づき、民生委員の協力とともに自主防災会における要支援者個別計画作成をお願いした。また、要援護者を含めた自主防災訓練が実施された。 |
| | 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) |
| | 要援護者個別計画の作成及び加除修正を行う。また、要援護者支援計画の趣旨を自主防災会に周知するとともに、要援護者の支援訓練を含めた自主防災訓練が行われるよう誘導していく。 |



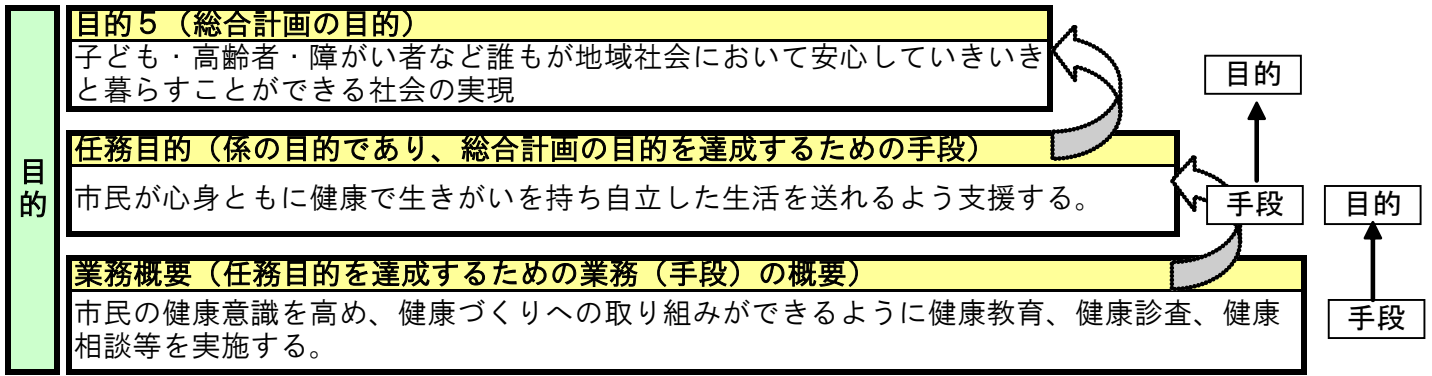
| | | | | | | | | |
|-------------|------------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 取り組みんだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 誰もが地域で自立した生活のできる支援体制が充実していると思う人の割合 | 36.0% | 39.8% | | | 38.0% | 23年度 | 104.7% |
| | 総世帯数に対する自治会加入世帯の割合 | 85.0% | 85.0% | | | 85.0% | 23年度 | 100.0% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 生活環境の状況把握（訪問）・指導件数 | 309 | 326 | | | 200 | 23年度 | 163.0% |
| | 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 民生委員児童委員地区定例会議の開催回数（回数／年） | 12 | 12 | | | 12 | 23年度 | 100.0% |

| | | |
|---|---|---|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 市民生活部 福祉課 | 関連する業務棚卸表（個表） 市民生活部 福祉課 社会福祉係 2/2 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、横ばい傾向である。長引く経済不況により生活相談や生活保護が急増している。住宅手当や福祉資金貸付等の新施策により、生活困窮者に対する支援が広がっている。 | |
| | 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | |
| ハローワークや社会福祉協議会の所管する支援制度と連携をとった支援を行っている。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引き続き、ハローワークや社会福祉協議会との連携を密にし、相談員も含めた窓口対応者の定期的な研修を行い、円滑な業務の推進を図る。 | | |



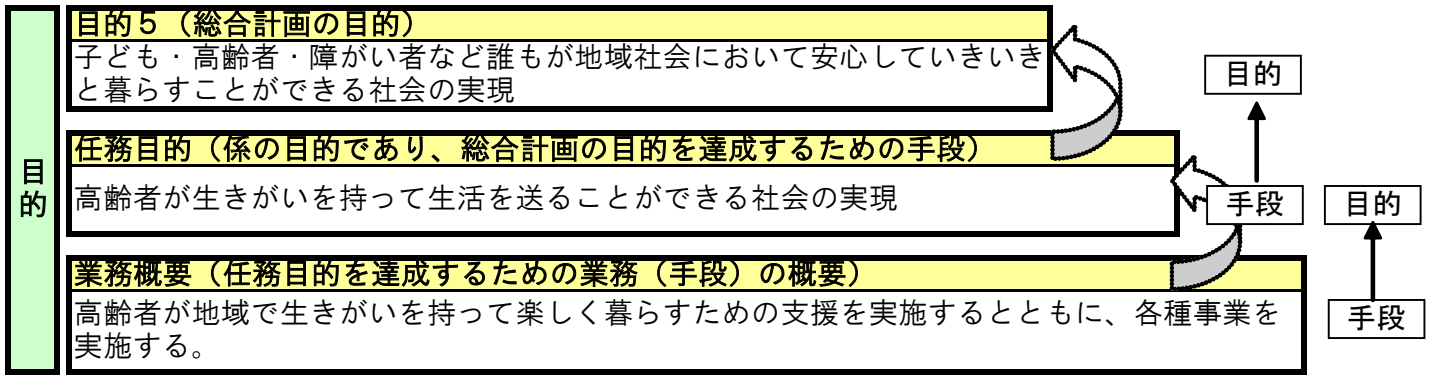
| | | | | | | | | |
|------------------|------------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 障がいを持つ人が安心して暮らすことができると思う人も割合 | 39.1% | 49.7% | | | 35.6% | 23年度 | 139.6% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 相談支援事業を利用する人の割合 | 16.3% | 17.9% | | | 17.0% | 23年度 | 105.3% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 自立支援協議会の開催（回数／年） | 30 | 18 | | | 30 | 23年度 | 60.0% | |

| | | |
|--|--|---|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 市民生活部 福祉課 | 関連する業務棚卸表（個表） 市民生活部 福祉課 障がい者福祉係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、上昇傾向にある。障害者の能力や適正に応じた訓練やサービスは個々の希望や状況により支給をしているが、障害者の高齢化が進んでおり、また重度化・重複化障害者が増えている。 | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 東遠地域自立支援協議会においてサービスの調整や課題の検討を実施し、円滑なサービス提供に努めた。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 東遠地域広域障害者計画、第2期東遠地域広域障害者福祉計画に基づき、障害者福祉サービスの充実を推進していく。障害者の高齢化への対応や不足する重度障害者支援施設についての検討を行っていく。 | | |



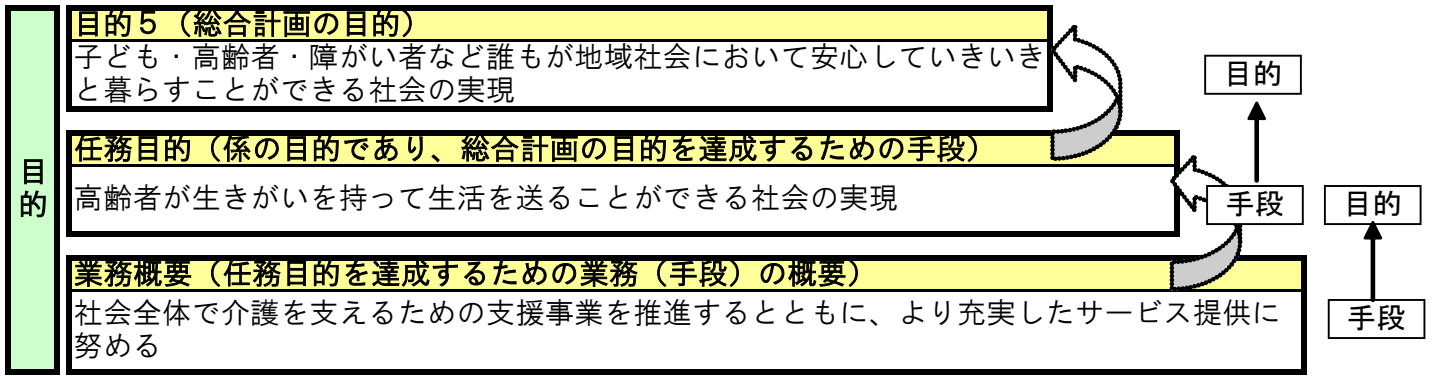
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-----------------------------------|--------------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|
| | 健康づくりに取り組む人が増えていると思う人の割合 | 73.1% | 75.9% | | | 74.2% | 23年度 | 102.3% |
| | 検診や健康相談など病気の予防対策が充実していると思う人の割合 | 63.6% | 71.1% | | | 67.2% | 23年度 | 105.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 健康づくり推進委員自治会活動での職員や講師による健康教室の参加人員 | 914 | 762 | | | 1,100 | 23年度 | 69.3% | |
| | 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 医療機能連携の強化 (病院との連携) | 3 | 3 | | | 6 | 23年度 | 50.0% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|--|--|-----------------------|
| | 市民生活部 健康長寿課 | 市民生活部 健康長寿課 健康増進係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度 (アンケート結果) については、初年度実績と比較するとやや増加している。これは、妊婦健診や乳幼児の健診業務、母子保健事業などを行うとともに、自治会の会合等において、健診や健康づくりに関する講座を開催するなど積極的な活動を実施した結果であると考えられる。 | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| 受診率の向上及び業務の合理化を図るため、各種がん検診を年間2回の検診から年間1回で色々な検診が一括で受診できるようにした。なお、成人に対しては、各種がん検診時の待ち時間を利用し、ビデオや保健師が作成した資料等で指導・啓発を行うとともに、地域においては、健康づくり推進委員の活動 (ミニ講座の開催など) を通じ、自治会との連携を図りながら、市民の健康意識の高揚を図っている。 | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| 次年度は、健康増進計画の策定 (見直し) を行いながら、心身の健康に関する意識の高揚に努めるとともに、市民一人ひとりが自らの健康管理を適正に行なえるための情報を提供する。また、「かかりつけ医」と連携を図る中で、年1度の特定健診やがん検診に加え健康相談等の充実を図る。 | | |



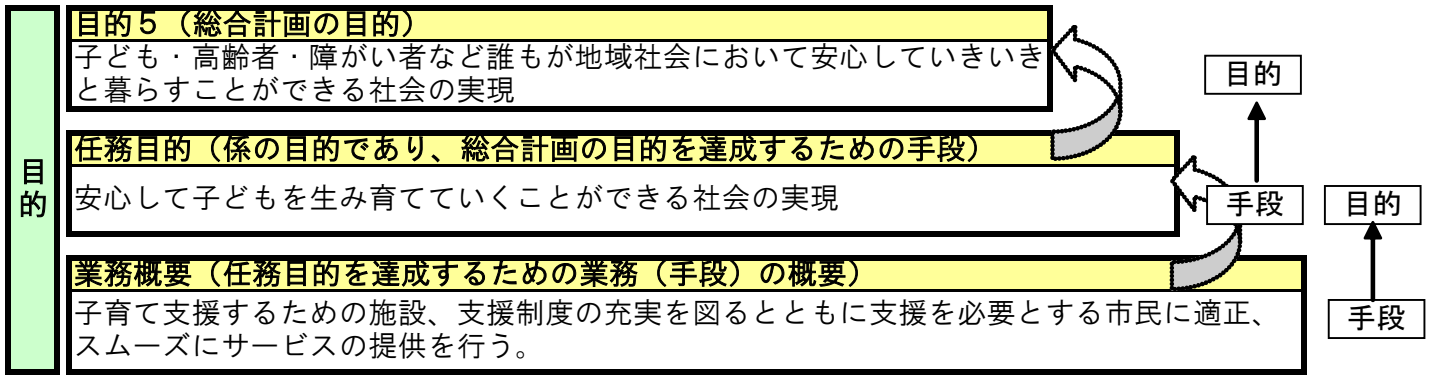
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-----------------|-----------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|-------|--------|
| | 高齢者が生きがいを持って地域活動に参加する機会があると思う人の割合 | 50.2% | 52.9% | | | 43.8% | 23年度 | 120.8% |
| | 地域福祉権利擁護事業、成年後見制度を認知している割合 | 42.1% | 42.1% | | | 50.0% | 23年度 | 84.2% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 地域での高齢者サロン開設箇所数 | 3 | 4 | | | 5 | 23年度 | 80.0% | |
| | 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| シルバー人材センターの会員数 | 489 | 458 | | | 600 | 23年度 | 76.3% | |

| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|--|---|-----------------------------|
| | 市民生活部 健康長寿課 | 市民生活部 健康長寿課 高齢者福祉・包括支援係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | <p>総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、目標をクリアしている。市では、介護予防サービスや在宅福祉サービス、地域包括支援センターの相談窓口等を行なっているが、地域においても高齢者の介護予防サロンや老人クラブ活動が行なわれている。また、働く意欲のある高齢者は、シルバー人材センターに加入し働く機会がある。</p> | |
| 【評価②】平成22年度の実績（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| <p>高齢者が増加しており、これまでの高齢者施策を、継続して行なっていくとともに、各種支援制度の認知を高めて行く。 高齢者個人の価値観も多様化しているところではあるが、高齢者の能力の積極的な活用と、高齢者の生きがい作りのためにシルバー人材センターへの加入を呼びかけていく。（シルバー人材センターにおいても、高齢者への就業の機会を拡大するため、事業内容の検討を進めている。）</p> | | |
| 【評価③】平成23年度の実績（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| <p>引き続き高齢者の各施策を推進のうえ、目的に掲げる「子ども・高齢者・障がい者など誰もが地域社会において安心していきいきと暮らすことができる社会の実現」に向けて、対応していく。</p> | | |



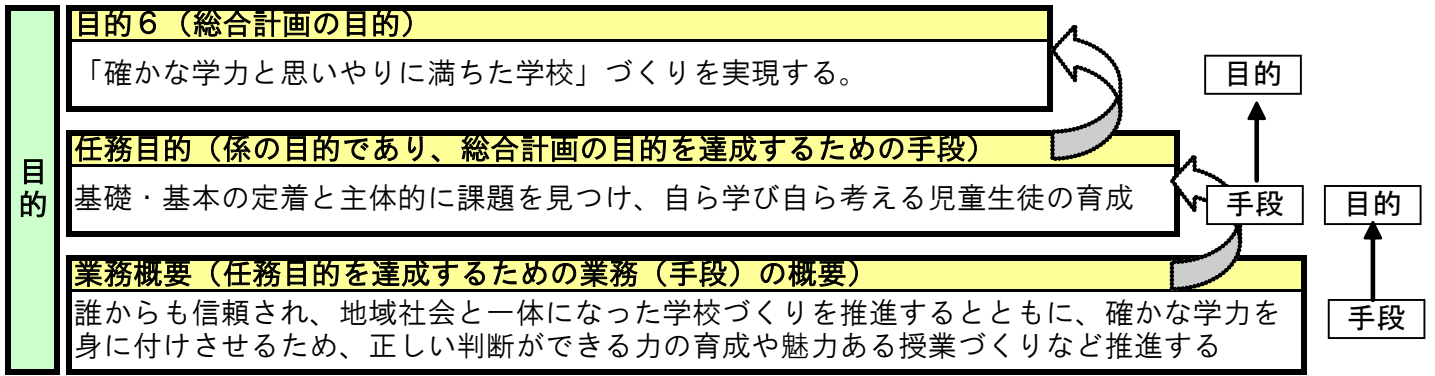
| | | | | | | | | |
|-------------------|----------------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 高齢者とその家族を支えているサービスが充実していると思う人の割合 | 39.6% | 42.6% | | | 37.6% | 23年度 | 113.3% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 要介護2-5認定者の居住系占有率 | 32.8% | 44.1% | | | 44.2% | 23年度 | 100.2% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 要介護4-5認定者の入所施設占有率 | 55.4% | 51.1% | | | 64.9% | 23年度 | 78.7% | |

| | | |
|---|---|---|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 市民生活部 健康長寿課 | 関連する業務棚卸表（個表） 市民生活部 健康長寿課 介護保険係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 誰もが地域社会において安心していきいき暮らすことができる社会の実現に向け、高齢者とその家族を支える「介護サービス」の充実を目指し、介護予防給付や地域支援事業による介護予防の推進、加えて高齢者保健サービスや高齢者福祉サービスに掛かる施策を推進してきた。 | |
| | 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | |
| 平成20年度に策定された「第4期介護保険事業計画・第5次高齢者保健福祉計画」に基づいた施策を的確に推進していくため、これまでも取り組んできた介護予防事業や給付の適正化事業をより確実に実行しており、併せて地域包括支援センター・ランチの整備を進めている。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 第3期介護保険計画に定められた平成26年度の目標達成に向け、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続するため、「地域密着型サービス拠点施設」の整備等を計画的に進め、地域の実情に応じた介護サービスの充実に努める。 | | |



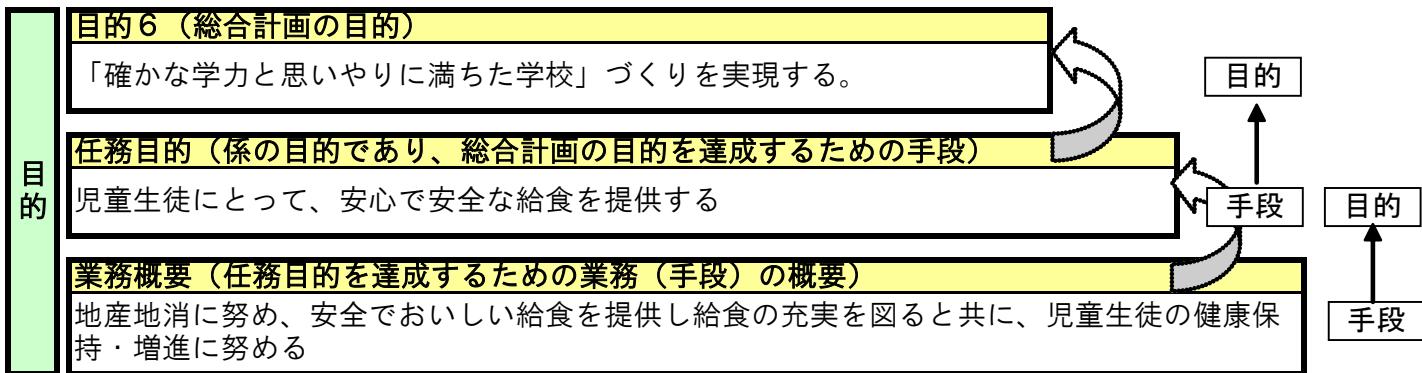
| 取り組みんだ業務の成果 | 目的(総合計画)の成果指標 | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| | | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | ニーズに応じた保育サービスが充実していると思う人の割合 | 46.7% | 47.2% | | | 41.0% | 23年度 | 115.1% |
| | 子育てに不安を感じたときに相談できるところがあると思う人の割合 | 43.0% | 44.1% | | | 34.9% | 23年度 | 126.4% |
| 任務目的の成果指標 | | | | | | | | |
| | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 児童館・子育て支援センターの利用者数 | 52,630 | 47,546 | | | 48,000 | 23年度 | 99.1% | |
| 業務概要の活動指標 | | | | | | | | |
| | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| リフレッシュ・一時保育の実施園 | 9 | 11 | | | 11 | 23年度 | 100.0% | |
| 延長保育の実施園 | 4 | 5 | | | 5 | 23年度 | 100.0% | |
| 放課後児童クラブの設置数 | 9 | 9 | | | 7 | 23年度 | 128.6% | |

| 評価(プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|------------|---|--------------------------------|
| | 市民生活部 こどもみらい課 | 市民生活部 こどもみらい課 子育て支援・子育て相談係 1/1 |
| | <p>【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当)</p> <p>本市の出生者数も緩やかな減少をたどるなど、少子化社会の進捗はますます顕著となってきている。しかしながら、景気低迷による収入低下などにより、少子化傾向にもかかわらず、家庭における就業希望は増加傾向にあり、保育園への入園希望も増加してきている。同じ傾向は放課後児童クラブにおいても見られ、今後もその傾向は続くであろうと推測される。一方、就労や一人親の増加など、子育て環境の多様化により、子育て全般に関する相談も年々増加してきている。</p> <p>【評価②】平成22年度取組(前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、保育園園舎の耐震化工事の実施、延長保育の拡大、放課後児童クラブの整備、家庭児童相談事業等の充実に取り組んでいる。また今後さらなる子育て環境の充実を図るため、後期計画に当たる平成22年度からの次世代育成支援行動計画に基づき、現在事業の推進を図っている。</p> <p>【評価③】平成23年度取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当)</p> <p>新たに策定した行動計画を基本として、リフレッシュ一時保育や延長保育、幼保一元化を見通した公立老朽化保育施設、放課後児童クラブ施設、子育て家庭の経済的支援に当たる乳幼児・こども医療費制度など、多様化する子育て環境に対応していくための事業を推進し、さらなる子育て世代の支援を目指す。</p> | |



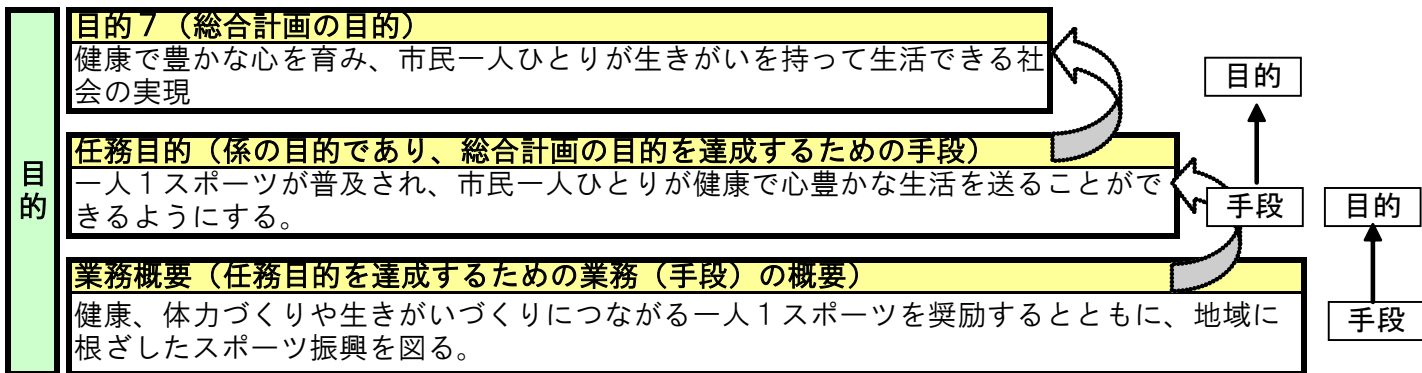
| 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------------------------------|-------|-------|-----|-----|--------|------|--------|
| 知・徳・体に優れた人間形成を図る学校教育がなされていると思う人の割合 | 53.3% | 53.5% | | | 47.1% | 23年度 | 113.6% |
| 学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを見守っていると思う人の割合 | 69.1% | 66.9% | | | 61.5% | 23年度 | 108.8% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (小学校) | 92.3% | 92.6% | | | 95.0% | 23年度 | 97.5% |
| 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (中学校) | 89.4% | 92.5% | | | 93.0% | 23年度 | 99.5% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 学校及び幼稚園施設の耐震化 | 98.3% | 98.3% | | | 100.0% | 23年度 | 98.3% |
| 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (小学校) | 90.9% | 90.5% | | | 93.0% | 23年度 | 97.3% |
| 学校が楽しいと感じている児童生徒の割合 (中学校) | 83.6% | 80.3% | | | 87.0% | 23年度 | 92.3% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|-------------------|--|
| 教育文化部 学校教育課・教育総務課 | 教育文化部 学校教育課・教育総務課 1/1 |
| 評価 (プロセス評価) | <p>【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当)</p> <p>総合計画の管理指標であるアンケート結果については、初年度実績と比較すると増加しているが、前年度と比較すると横ばいあるいは減少傾向にある。また、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合は増加傾向にある。このことは、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、工夫された教育課程を編成したり、一人ひとりに目を向けたきめの細かな教育実践の成果であると考えられる。一方、家庭や地域との連携、授業が分かると感じる児童生徒の割合はやや減少の傾向にある。授業改善は、重点的に取り組む必要がある。</p> |
| | <p>【評価②】平成22年度の実績 (前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>各学校へ設置したパソコン及びデジタルテレビを効果的に活用し、これまで以上に「わかる授業」「楽しい授業」を行うことにより、児童生徒の学力向上を目指している。また、研修主任研修会や小学校英語活動教員研修会等を開催し、教員等への指導を強化を図る。</p> |
| | <p>【評価③】平成23年度の実績 (「PDCA」の「A (改善)」に該当)</p> <p>引き続き、学校への指導・助言を充実させる。新しい学習指導要領への移行の機会をとらえ、教科等の指導計画の策定を学校における教育課程編成の中核に位置づけ、「確かな学力」の育成を目指して必要な施策を講じていく。</p> |



| 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 知・徳・体に優れた人間形成を図る学校教育がなされていると思う人の割合 | 53.3% | 53.5% | | | 47.1% | 23年度 | 113.6% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 年間給食残食率 | 2.9% | 4.1% | | | 5.0% | 23年度 | 82.0% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 事故・中毒発生数 | 0 | 0 | | | 0 | 21年度 | 100.0% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|-------------------|--|
| 教育文化部 学校教育課 | 教育文化部 学校教育課 給食センター係 1/1 |
| 評価（プロセス評価） | <p>【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当）</p> <p>総合計画の管理指標であるアンケート結果については、増加傾向にある。年間給食残食率、事故・中毒発生件数、ともに目標値を達成しており、衛生管理が徹底された安心安全なおいしい給食作りが実施できている。しかし、H20年度に比べると残食率が高くなっており、給食内容の充実をより図る必要があると考える。また、給食業務を通じての食育推進事業を学校・幼稚園と連携のもと推し進め、給食残食量の減少につなげていくことが必要である。</p> |
| | <p>【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて）</p> <p>給食調理試作研究会を開催する等して給食内容の充実と調理員の技術向上を図っている。また、給食業務を通じて児童生徒が望ましい食生活を身につけられるように、食育推進を図る事業を実施している。栄養士による「食に関する指導」や市内産食材を活用した「ふるさと給食週間」、生産者等と児童生徒が交流する「ふれあい事業」等を学校・幼稚園と連携を取り合いながら進め、その実施内容に創意工夫を図っている。</p> |
| | <p>【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当）</p> <p>引続き、衛生管理体制を徹底し、給食業務を通じての食育推進事業の充実・改善を図りながら、安心安全なおいしい給食づくりに取り組む。</p> |



| 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|---------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 気軽にスポーツなどの活動ができる環境が整っていると思う人の割合 | 56.6% | 60.1% | | | 52.7% | 23年度 | 114.0% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| スポーツ大会、教室の参加人数 | 2,594 | 2,747 | | | 2,700 | 23年度 | 101.7% |
| 体育協会、スポーツ少年団加入者 | 2,759 | 2,737 | | | 3,100 | 23年度 | 88.3% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 総合型地域スポーツクラブ | 0 | 0 | | | 1 | 23年度 | 0.0% |

| | |
|----------------|-------------------------|
| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
| 教育文化部 社会教育課 | 教育文化部 社会教育課 スポーツ振興係 1/1 |

評価 (プロセス評価)

【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当)

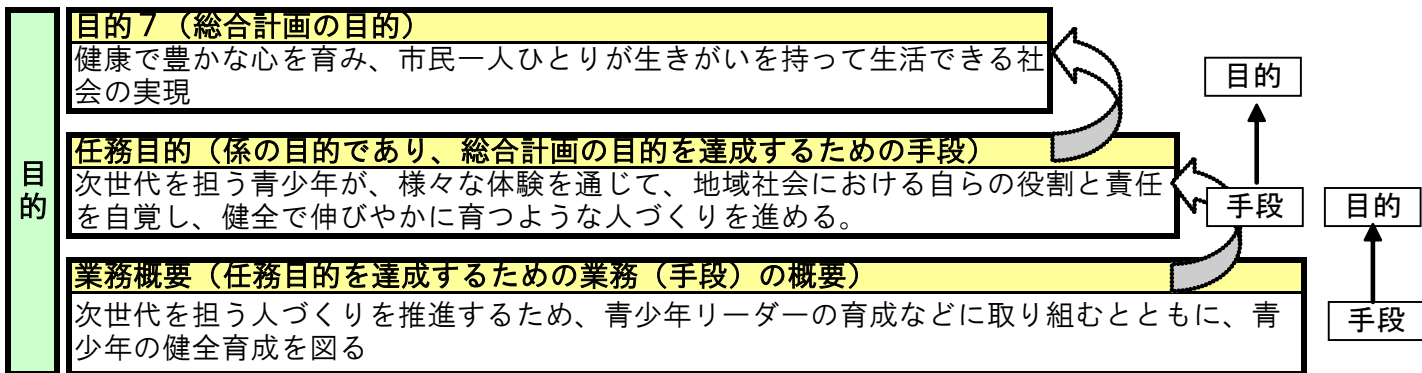
総合計画の管理指標であるアンケート結果については、増加傾向にある。市、教育委員会が主催する各種スポーツ教室、スポーツ大会については、年々参加者が増加している状況にある。これは、健康志向の高まりに加え、体育指導委員、スポーツ委員等が中心となり、各地区において軽スポーツの普及、啓発に取り組んでいる結果と考える。反面、スポーツをする人、しない人の二極化の改善、40歳代から50歳代の働き盛りにある成人のスポーツ実施率の向上などが課題としてあげられる。今後においては、一人ひとりの目的、レベルに応じたスポーツ活動が、いつでも、どこでも、気軽に行うことができるような体制づくり、スポーツ環境の構築が必要と考える。

【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて)

誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しむことのできる生涯スポーツを推進するための中心的役割が今後期待される総合型地域スポーツクラブを設立するため、菊川市では「競技スポーツ」と「健康スポーツ」の2本を柱に平成21年度発足した準備団体「アプロス菊川 (仮称)」の運営を全面的に支援しており、スポーツ教室、スポーツ大会などの各種事業は計画に沿って順調に行われている。今後は、平成22年度中のクラブ設立に向けて、また、設立後の自主運営を念頭におき、引き続きクラブ関係者と打合せを行っていく予定である。

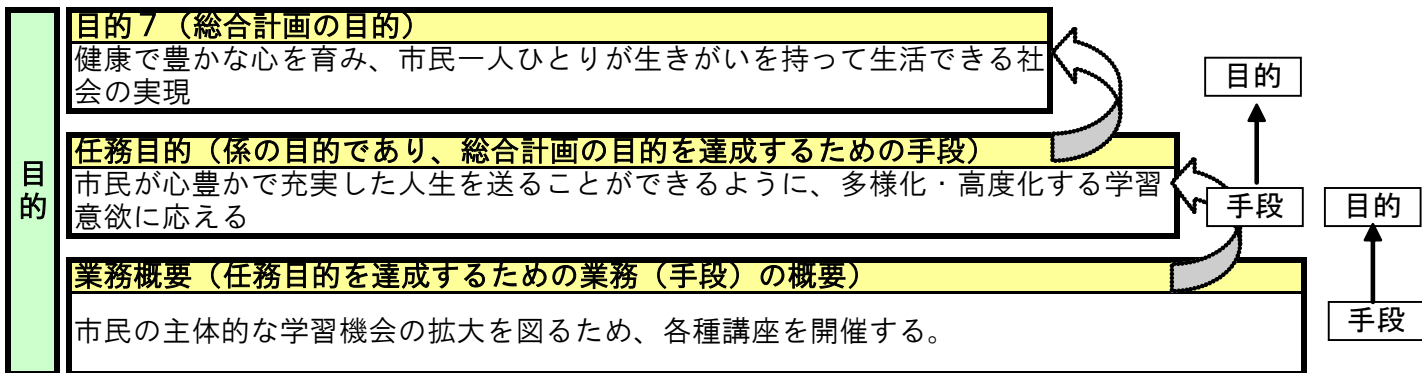
【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当)

競技スポーツ、健康スポーツ、生涯スポーツの推進をとおして、一人1スポーツを定着させ、市民一人ひとりが健康で心豊かな生活を送ることができるよう、この推進母体としての役割を担う市体育協会、市体育指導委員、総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ団体の充実を図るとともに、更なる市のスポーツ振興を図るための組織体制を確立する。



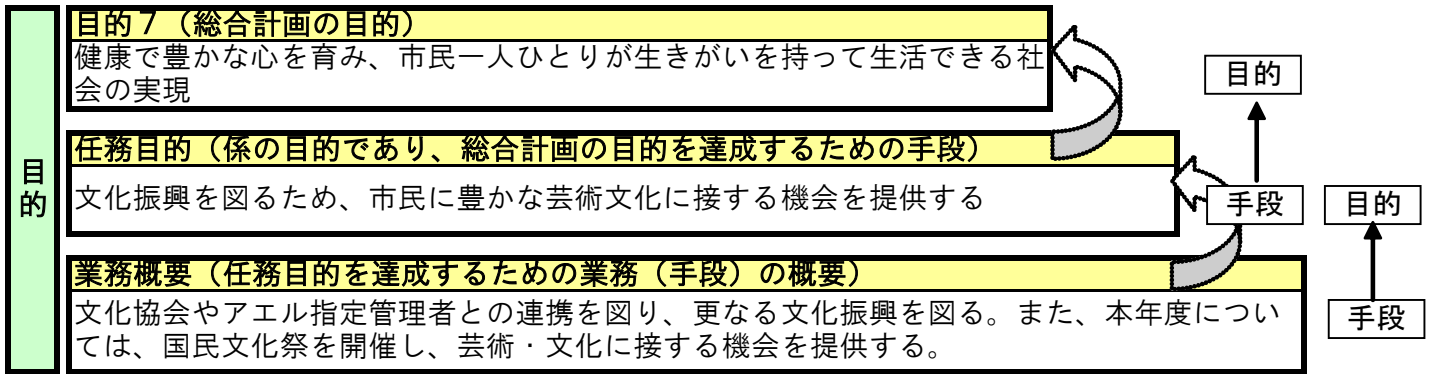
| | | | | | | | | |
|---------------------|--|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 取り組み んだ業務 の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 子どもたちのために家庭・学校・地域が一体となって取り組んでいると思う人の割合 | 61.3% | 66.9% | | | 58.9% | 23年度 | 113.6% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 家庭教育学級の意識向上割合 | 59.3% | 54.2% | | | 60.0% | 23年度 | 90.3% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 人づくりフェスタへの参加人数 | 147 | 348 | | | 400 | 21年度 | 87.0% | |

| | | |
|--|---|-----------------------|
| 評価 (プロセス 評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
| | 教育文化部 社会教育課 | 教育文化部 社会教育課 社会教育係 1/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標であるアンケート結果については、増加傾向にある。青少年夏期・冬期生活街頭指導の実施やボランティア活動の推進などにより、子どもたちのために家庭・学校・地域が一体となって取り組んでいると思う人の割合は増えた一方、家庭教育学級の意識向上割合は減となった。人づくりフェスタ等をとおし、よりいっそう、家庭教育の大切さについて広めていく必要があるといえる。 | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 家庭教育学級は、自主的に活動していくため、親が主体となり運営され、各学級の活動も活発になった。活動を通して親のあり方、家庭のあり方について学ぶ機会となり、親同士、学級生同士のつながりが出来てきた。人づくりフェスタについてはテレビ寺子屋との同時開催により、参加人数の増や、効率化につなげていく。 | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引き続き、青少年のための街頭指導の実施やボランティア活動を推進していく。家庭教育学級については、学級からの活動に対して、支援や情報提供を行ない、内容の充実や親同士、学級生同士のつながりを強めていく。 | | |



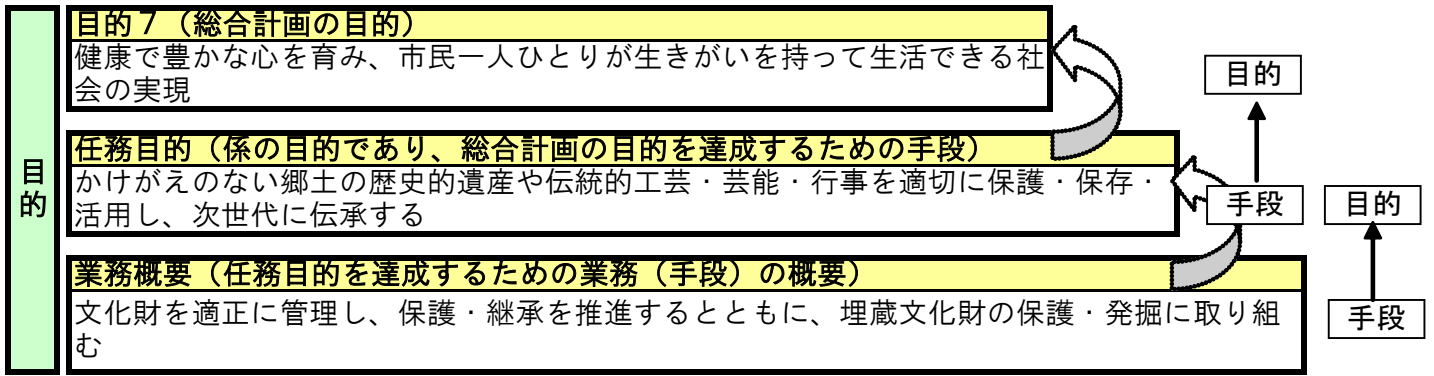
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|-------------------------------------|--------|--------|-----|-------|--------|-------|--------|
| | いつでも、だれでも学習したいときにできる環境が整っていると思う人の割合 | 47.6% | 49.1% | | | 45.8% | 23年度 | 107.2% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 中央公民館利用者 | 36,611 | 32,864 | | | 36,800 | 21年度 | 89.3% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 講座参加率 | 73.0% | 76.0% | | | 81.0% | 23年度 | 93.8% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|---|-----------------------|
| | 教育文化部 社会教育課 | 教育文化部 社会教育課 社会教育係 2/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | いつでも、だれでも学習したいときにできる環境が整っていると思う人の割合は増となった。一方、公民館利用者は約4000人ほど減少した。これは、近隣のコミュニティーセンターの設置により、利用者が移行したものと考えられる。 | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| 公民館利用拡大のため、土・日曜日の夜間や、平日の夕方の時間について開館している。また、講座の開催方法等を見直し、利用者の増加に努めている。 | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| 公民館利用拡大のため、引き続き開館時間を拡大していく。多様化・高度化する学習意欲に応えるため、利用者のニーズに合った講座の開設など学習機会の提供に努めていく。 | | |



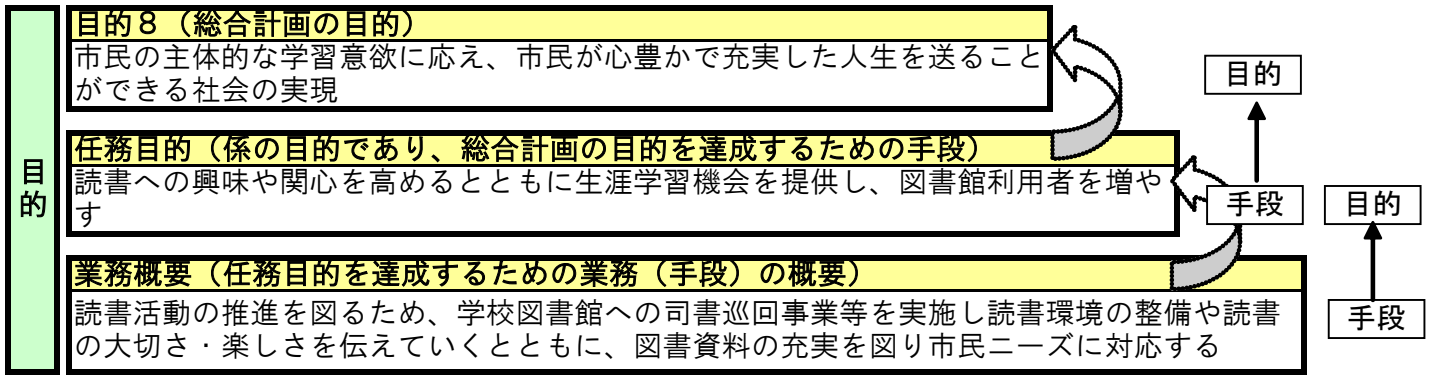
| 取り組んだ業務の成果 | 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|----------------------------|--------|--------|-----|-------|--------|--------|--------|
| | 気軽に芸術に触れられる環境が整っていると思う人の割合 | 45.7% | 49.1% | | | 46.0% | 23年度 | 106.7% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 文化会館自主公演事業の入場率 | 82.9% | 103.9% | | | 100.0% | 23年度 | 103.9% |
| | 文化会館大・小ホール利用率 | 51.2% | 51.7% | | | 62.0% | 23年度 | 83.4% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 出展者・出演者数 | 4,758 | 4,612 | | | 5,000 | 23年度 | 92.2% | |
| 参加者・来場者数 | 5,195 | 30,879 | | | 8,500 | 23年度 | 363.3% | |

| 評価(プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|---|---|-----------------------|
| | 教育文化部 社会教育課 | 教育文化部 社会教育課 社会教育係 3/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当) | |
| | 気軽に芸術に触れられる環境が整っていると思う人の割合は増となっている。文化会館アエル自主公演事業の入場率も増となった。これは、国民文化祭の開催などにより、広く市民に芸術や文化に親しむ機会となったことなどによるものといえる。 | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組(前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| 国民文化祭により築かれた各種団体等との連携を発展させていくよう検討している。また、文化会館アエルの指定管理者更新に向けて作業を進めている。 | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当) | | |
| 各種団体等との連携や、文化会館アエルと文化協会等の芸術活動者の支援、発掘により、利用率の向上、参加人数、来場者数の増を図る。 | | |



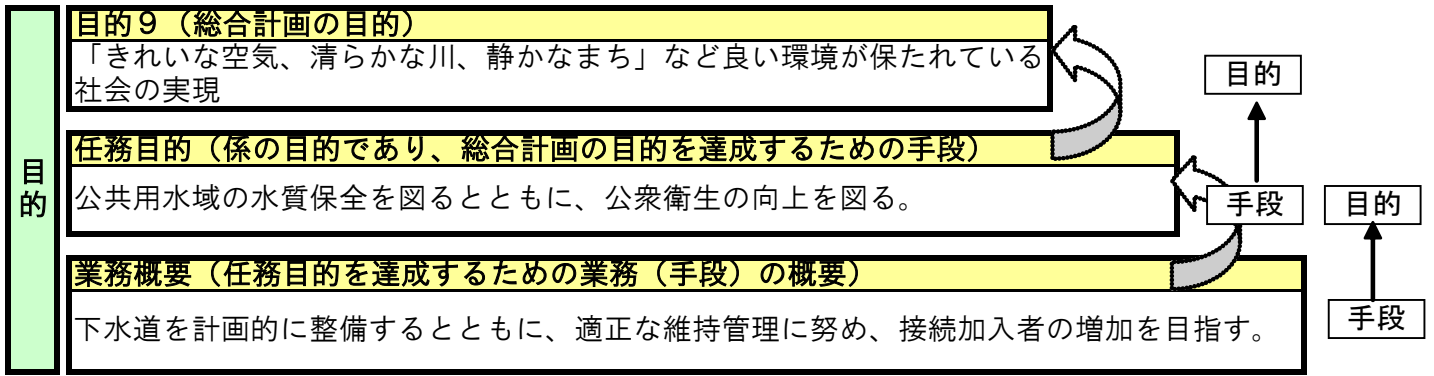
| 取り組んだ業務の成果 | 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|---------------|-------------------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| | 歴史・文化遺産が適切に保全され活用されていると思う人の割合 | 54.9% | 56.6% | | | 54.1% | 23年度 | 104.6% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 代官屋敷資料館入館者数 | 2,698 | 1,968 | | | 2,600 | 23年度 | 75.7% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 埋蔵文化財事務期限内処理率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 23年度 | 100.0% | |

| 評価(プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|--|---|-----------------------|
| | 教育文化部 社会教育課 | 教育文化部 社会教育課 文化振興係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当) | |
| | アンケートによれば、歴史・文化遺産の保全が適切になされている割合が若干増加している。埋蔵文化財事務期限内処理は適切に処理を行っている。一方で代官屋敷資料館の入館者が減少している。これは、平成20年度より行っている黒田家住宅保存修理事業の影響で住宅敷地内の立入が制限されていることによる影響と考えられる。 | |
| 【評価②】平成22年度の実績(前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| 本年度で黒田家住宅の保存修理事業は終了となる。保存修理の状況を市民等に紹介し、文化財の保存方法を周知するため、黒田家住宅の完成後の見学会の開催について所有者と協議し文化財の周知・活用を図っている。 | | |
| 【評価③】平成23年度の実績(「PDCA」の「A(改善)」に該当) | | |
| 黒田家住宅見学などの活用方法を所有者と協議すると共に、代官屋敷資料館等周辺施設と一体となった見学となるようなPRを図ることにより、文化財保護への周知や活用につなげていく。 | | |



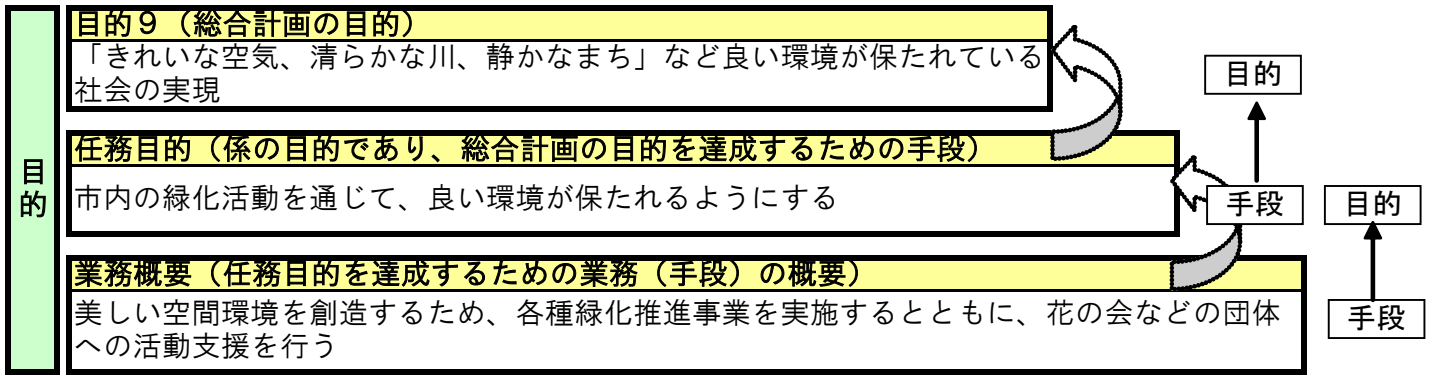
| 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-------------------------------------|--------|--------|-----|-----|--------|------|--------|
| いつでも、だれでも学習したいときにできる環境が整っていると思う人の割合 | 47.6% | 49.1% | | | 45.9% | 23年度 | 107.0% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 図書館利用者(年間貸出者数) | 71,067 | 76,060 | | | 66,800 | 23年度 | 113.9% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 市民1人当たりの蔵書冊数 | 4.5 | 4.8 | | | 4.75 | 23年度 | 101.1% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|---|---------------|
| 教育文化部 図書館 | 教育文化部 図書館 1/1 |
| 【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当) | |
| 総合計画の管理指標であるアンケート結果については、増加傾向にある。新鮮な資料の提供と情報発信を行い、多様化する市民ニーズに対応するとともに、講座、講演会等を開催し、読書活動の推進に努めている。また、より多くの方に利用者していただけるよう開館日、開館時間拡大の試行を実施し、地域に密着した図書館づくりを目指している。このような取り組みの結果、図書館利用者数は増加している。 | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組(前年度からの改善措置を踏まえて) | |
| 館内整理日休館を無くし開館日を増やす試行と7月～9月に開館時間拡大試行を実施し、利用者ニーズへの対応している。また、開館日についても館内整理日休館を無くし年間の開館日数を増やすなど、読書への興味や関心を高めるための取組をしている。 | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当) | |
| 引き続き、開館日、開館時間の拡大試行を行い、利用者ニーズにあった開館日・開館時間を定着させる。また、市民の読書への興味や関心を高めるために読書環境の整備を行い、図書資料の充実を図る。 | |



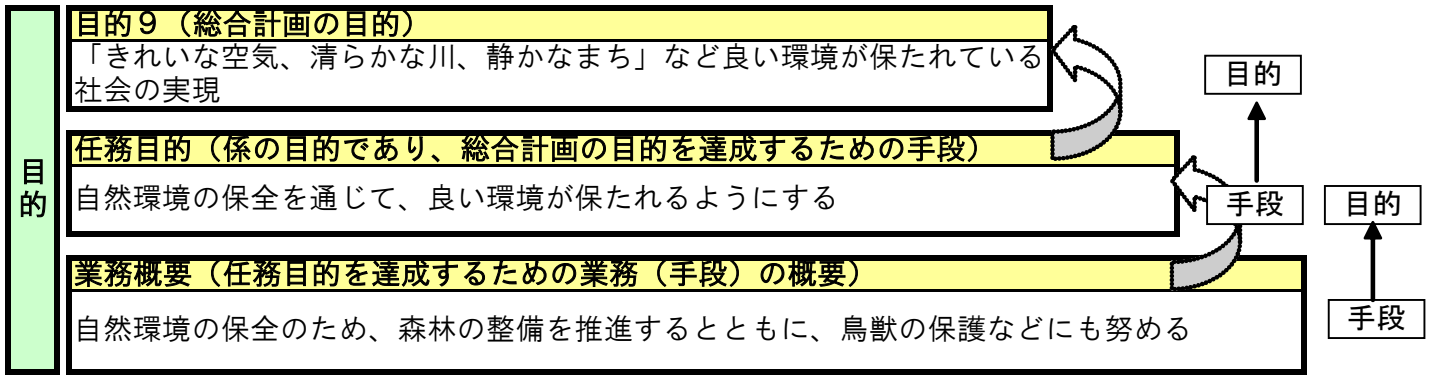
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|---------------|--------------------|-------|-------|-----|-------|--------|--------|--------|
| | 良い環境が保たれていると思う人の割合 | 60.6% | 65.5% | | | 54.4% | 23年度 | 120.4% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 汚水処理人口 (公共下水道) | 8,066 | 8,757 | | | 11,510 | 23年度 | 76.1% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 接続加入者率 (水洗化率) | 82.5% | 86.2% | | | 85.0% | 21年度 | 101.4% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|---|-----------------------|
| | 小笠支所 下水道室 | 小笠支所 下水道室 事業係・庶務係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | <p>「良い環境が保たれていると思う人の割合」は増加傾向にあり、下水道整備による生活環境の改善効果も一助を成していると考えます。また、環境基本計画策定時の市民アンケート結果からも市が優先して取り組むべき環境対策として河川の水質改善が第一に望まれ市民の清流「菊川」への思い入れは非常に強いものがあり、今後も下水道整備を補完する合併浄化槽事業と連携を図り更なる生活排水処理対策が必要と考えます。</p> | |
| 【評価②】平成22年度取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>供用開始から6年目を迎え、汚水処理人口の増加に伴い五丁目樋管や市営住宅排水口 (上本所) 等のBOD数値は年々低下しており、水質保全効果は着実に進んでいると考えます。また、包括的民間委託の更なるレベルアップを図ることによる維持管理コストの低減を検討している。さらに未接続家屋に対しては、地道に戸別訪問を実施すると共に、生活排水処理に対する更なるコンセンサスの醸成を図るべく、全市的視点に立ち啓蒙・啓発活動 (出前行政講座・下水道新聞の発行・HPの充実) を展開している。次期計画については、厳しい財政状況を鑑みる中、事業進捗を緩めるなどの検討を進めて行く。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| <p>経営分岐点とされる料金収入により維持管理費を早期に賄うため、民間委託レベルのアップによる一層のコスト削減を図る。また、未接続加入促進事業として、加入促進強化地区を指定する中で戸別訪問の強化と併せて、水質改善等をPRするイベント展 (環境推進課と合同) 開催などの新たな促進施策を検討していく。</p> | | |



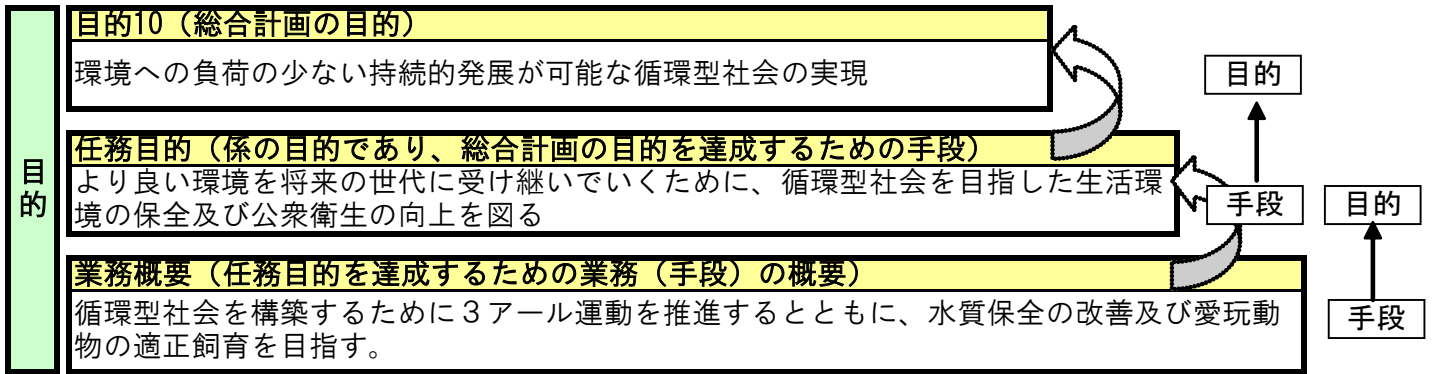
| | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 身近に自然を感じられる場所が多くあると思う人の割合 | 86.7% | 85.0% | | | 78.9% | 23年度 | 107.7% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 活動を実施する自治会・花の会等団体数 | 2 | 2 | | | 3 | 23年度 | 66.7% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| パンジー等配布本数 | 1,408 | 1,638 | | | 2,000 | 23年度 | 81.9% | |

| | | |
|---|--|----------------------|
| 評価(プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
| | 建設経済部 農林課 | 建設経済部 農林課 農業係 2/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当) | |
| | <p>公園管理をおこなっているのは、農村公園(5箇所)の管理をおこなっている。(都市公園(31箇所)は都市計画課が管理)緑化事業としての桜の保護と松くい虫対策をおこなっている。農業者の高齢化、農業よりの離職等が進んでいるのが現状であり、農地の保全が厳しくなっている。緑化推進事業を推進する団体は、減少している。花の会のメンバーの高齢化が進んでいる状況がある。総合計画の管理指標である市民満足度(アンケート結果)については、初年度実績に比較して増加している。</p> | |
| 【評価②】平成22年度取組(前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>公園管理は、各担当課が管理をおこなっており、限られて予算で対応している。花の会のメンバーの勧誘等を広報を通じて行っているが、新規加入者は少ない状況であり、現在登録人数は、480名である。緑化事業を行う団体は、現在の2団体(花の会、緑の少年団)以上増やすのは難しい状況であるが、各自治会、企業等での花壇等の花の植替え等、地域の対応が積極的に行われている。花の配布事業は、主に学校関係への配布と「おどらぎ菊川」での配布(有料)が主であり、毎年行なわれており、緑化推進を積極的に進めている。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当) | | |
| <p>花の会のメンバーの募集を進める必要があるため、広報、ホームページ等で参加を呼びかけを行い参加者を増やしていく。配布の花は、花の会で栽培するものや、購入したものの配布であるが、予算の関係もあり、限られた予算のなかで対応をしていく。自治会、小学校等地域の緑化推進を</p> | | |



| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|--------------------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|
| | 良い環境が保たれていると思う人の割合 | 60.6% | 65.5% | | | 54.4% | 23年度 | 120.4% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|---|-------------------|
| | 建設経済部 農林課 | 建設経済部 農林課 農業係 3/3 |
| | <p>【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当)</p> <p>農業者の高齢化、農業よりの離職等が進んでいるのが現状であり、農地の保全が厳しくなっている。事業化されているのは、ため池の保全と里山による森の生成事業 (県事業)、農地・水環境保全向上対策事業、緑化事業としての桜の保護と松くい虫対策を限られた予算のなかでおこなっている。総合計画の管理指標である市民満足度 (アンケート結果) については、初年度実績に比較して増加している。(23年度目標値を超えている)</p> | |
| <p>【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>農地・水環境保全向上対策事業により、地域での農地の保全の動きが活発になってきている。耕作放棄地等の対策として、地域で市民農園等の動きが始まっており、指導・補助を行っている。森の再生事業 (県事業) を行う地域が増え、里山の再生に向け地元での動きが活発になってきている。有害鳥獣被害が増えているため、地域での説明会を開き、地元で罠免許の取得と地域の対策について説明会を開催し、地域の問題として解決を図っている。</p> | | |
| <p>【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当)</p> <p>農地・水環境保全向上対策事業、森の再生事業 (H27年度まで)、耕作放棄地対策事業 (H25年度まで) について県に積極的な働きかけを行うとともに、地元に対して説明会の開催や支援をおこない地域の保全について理解を図っていく。</p> | | |



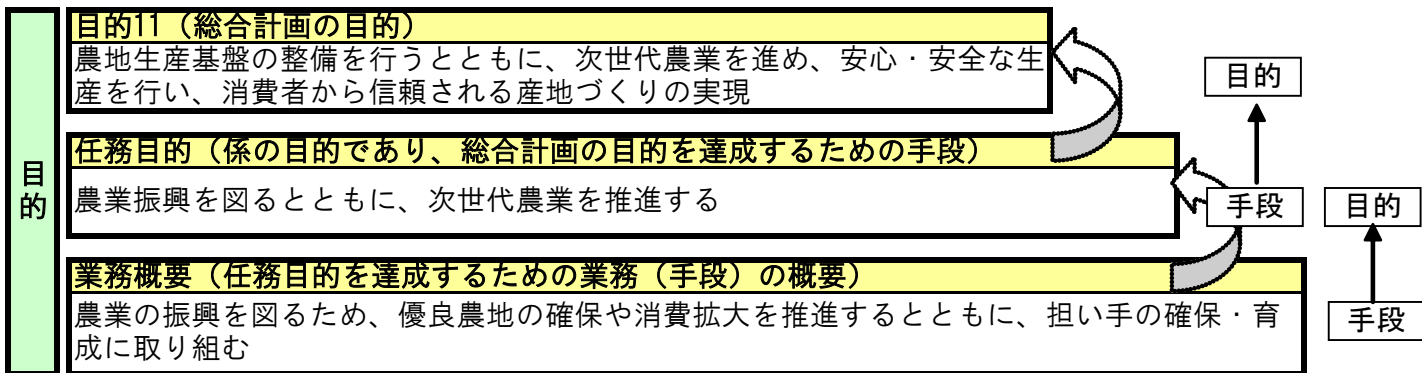
| 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 資源を大切にすることが活発であると思う人の割合 | 88.4% | 90.1% | | | 85.3% | 23年度 | 105.6% |
| 環境に対するモラル (道徳) の高い人が増えていると思う人の割合 | 56.9% | 57.1% | | | 49.9% | 23年度 | 114.4% |
| 地域や学校で、環境保全に対する活動が活発に行われていると思う人の割合 | 63.6% | 66.4% | | | 56.6% | 23年度 | 117.3% |
| 市の環境保全に対する取り組みが十分であると思う人の割合 | 58.6% | 65.1% | | | 56.5% | 23年度 | 115.2% |
| 温室効果ガス排出量削減目標 (H18年度比) | -5.6% | | | | 2.0% | 24年度 | |

| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 市民1人1日当たりのごみの総排出量 (g) | 649 | 627 | | | 649 | 32年度 | 96.6% |

| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|-------|-------|-----|-----|--------|------|--------|
| ごみの減量化 (t) | - | 8,925 | | | 8,689 | 32年度 | 102.7% |
| 資源物回収量 (t) | - | 2,316 | | | 3,395 | 32年度 | 68.2% |
| 生活排水処理率 | 48.9% | 53.5% | | | 80.0% | 32年度 | 66.9% |
| 狂犬病接種率 | 76.4% | 74.6% | | | 100.0% | 21年度 | 74.6% |

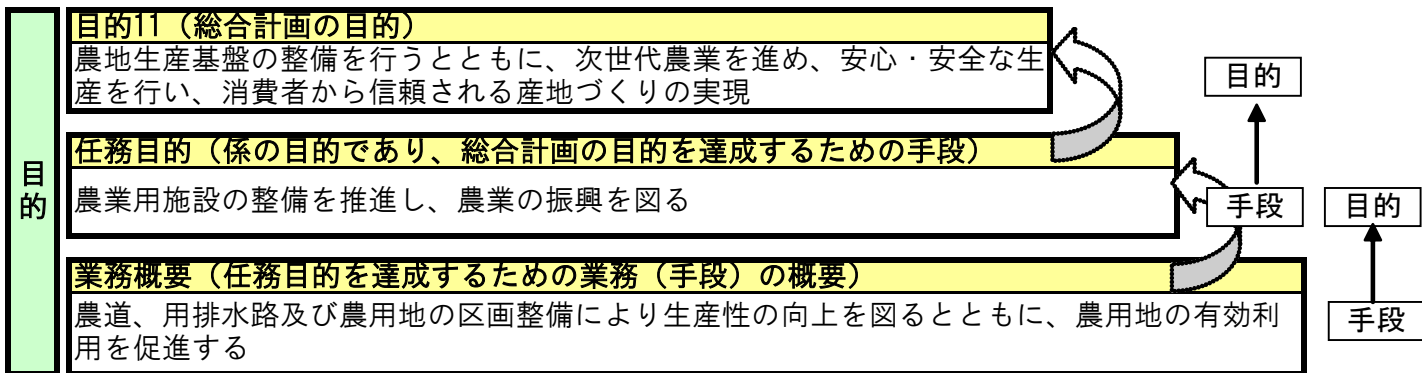
| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|-------------|----------------------------|
| 市民生活部 環境推進課 | 市民生活部 環境推進課 環境推進・環境政策係 1/1 |

| 評価 (プロセス評価) |
|--|
| <p>【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当)</p> <p>「資源を大切にすることが活発であると思う人の割合」や「市の環境保全に対する取り組みが十分であると思う人の割合」は上昇傾向にあり、一定の市民満足度が得られている。これは古紙の回収拠点設置等によるものと思われる。「市民一人一日当たりのごみ総排出量」は減少傾向にある。これはごみ分別の徹底と資源化の推進によるものと思われる。「生活排水処理率」は上昇傾向にある。これは合併浄化槽の設置補助金交付によるものと思われる。また、地球温暖化防止に向けた取り組みは自然エネルギー利用促進補助事業などを通じて推進している。</p> |
| <p>【評価②】平成22年度取組 (前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>平成21年度に環境基本計画を策定した。現在はこれに基づき、進行管理 (PDCAサイクル) を行っている。また、一般廃棄物処理基本計画の改訂により、目標値の設定を行う。</p> |
| <p>【評価③】平成23年度取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当)</p> <p>引き続き、環境基本計画に基づく進行管理 (PDCAサイクル) を推進し、計画の着実な実行を目指す。</p> |



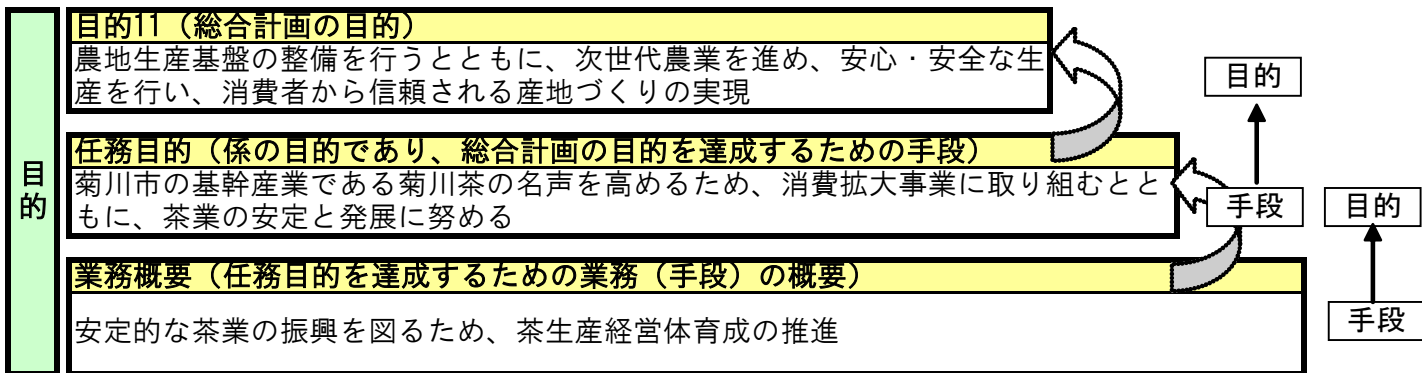
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|---------------------|------------------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| | 安全・安心で魅力ある農作物が生産されていると思う人の割合 | 72.7% | 74.8% | | | 71.2% | 23年度 | 105.1% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 認定農業者数 (経営体) | 260 | 260 | | | 335 | 23年度 | 77.6% |
| 担い手への農用地利用集積面積 (ha) | 600 | 764 | | | 1,123 | 23年度 | 68.0% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|---|-------------------|
| | 建設経済部 農林課 | 建設経済部 農林課 農業係 1/3 |
| | <p>【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当)</p> <p>農業従事者の高齢化、担い手の不足、農産物の価格の低迷等農業をとりまく環境は、年々増えているのが現状である。その反面農地法の改正が21年12月に行われ、企業が農業に参入することが可能となり、農業生産法人の増加がある。認定農業者は、平均年齢が高く減少傾向にある。農業生産法人が増えてきてはいる。担い手への集積は今後も進んでいくと思われるが、景気の状態が改善されないと厳しいものがある。総合計画の管理指標である市民満足度 (アンケート結果) については、初年度実績に比較して増加はしている。</p> | |
| <p>【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>農地法の改正により、認定農家は、個人は減少となり農業生産法人が増えてくる傾向がある。L資金の貸付や市が行う農地の斡旋事業をH21年度より積極的に進めている。国が行うリース事業についても、利用する農家が増えおり、農地の利用集積は、増加している。担い手=認定農家に限定して、積算をしているため、数字上は厳しい数字になっている。国の資金やリース事業は、認定農家でないと利用できないため、農家の認定農家を増やすよう指導・説明を今後も進めていく。</p> | | |
| <p>【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当)</p> <p>水田の米個別所得補償等については、利用権設定によらないと受けられないため、今後も推進を図っていく。認定農家でないと、国の資金を利用できないため認定農家への誘導を積極的に進めていく。</p> | | |



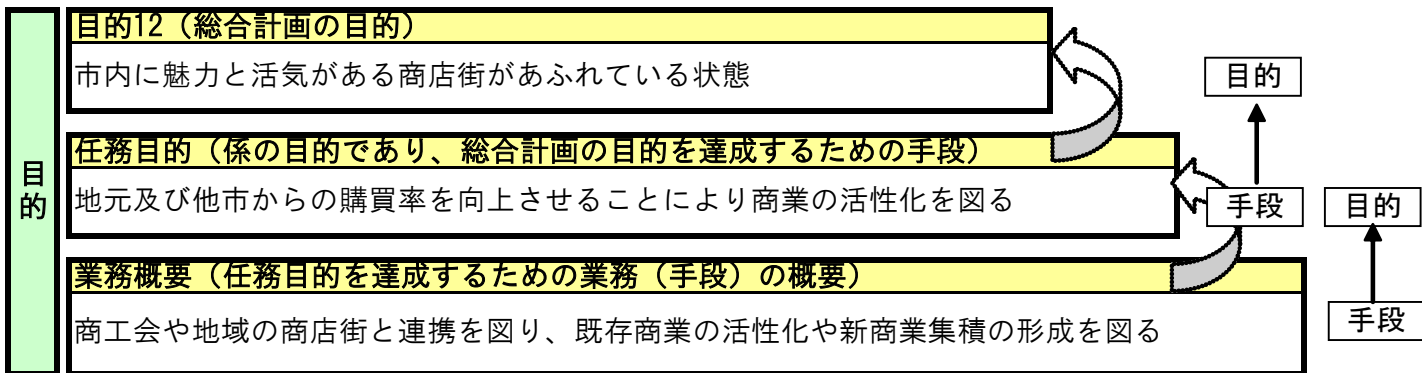
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|------------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| | 安全・安心で魅力ある農作物が生産されていると思う人の割合 | 72.7% | 74.8% | | | 71.2% | 23年度 | 105.1% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 農道舗装面積 | 8,219 | 6,210 | | | 6,122 | 21年度 | 101.4% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 採択率 | 69.0% | 66.0% | | | 64.0% | 21年度 | 103.1% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|--|---------------------|
| | 建設経済部 農林課 | 建設経済部 農林課 土地改良係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度(アンケート結果)についてはやや増加傾向にある。限られた財源のなかで、事業を計画的に推進したことにより、年度当初に掲げられた「農道舗装面積」や「採択率」の目標値についても達成することができたものの、引き続き、効果的に農業生産基盤を整備していく必要がある。 | |
| 【評価②】平成22年度取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| 農業生産基盤の整備については、県と連携を図りつつ、事業内容を精査するとともに、優先順位の高い事業について本年度の事業費の増額をし、計画どおり完了できるよう進めている。課題である市内の農業基盤整備水準の検討及び計画については、国の方針が定まらず対策に苦慮している。引き続き国の動向を注視しつつ、長期的な対策として今後も検討していく。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| 前年度からの改善措置であるが国、県の農業政策の方針に沿う農業基盤整備水準については大幅な事業費の減額が見込まれる中、各地区ごとの問題点の分析及び長期的対策の検討、計画が必要なため、それぞれ調査及び概略設計を進め事業実施へ向け県、地元と調整を図る。 | | |



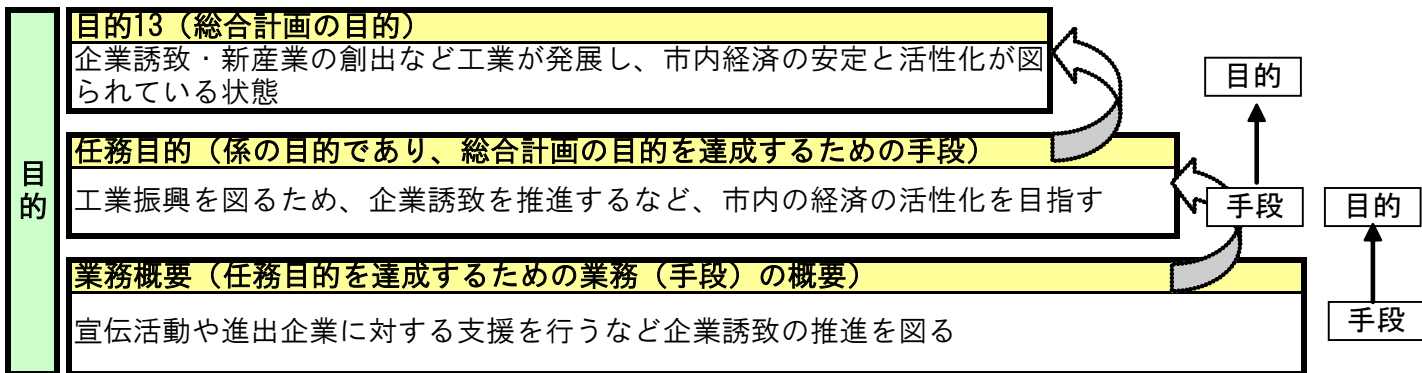
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-------------------|------------------------------|---------|-------|-----|---------|-------|-------|--------|
| | 安全・安心で魅力ある農作物が生産されていると思う人の割合 | 72.7% | 74.8% | | | 71.2% | 23年度 | 105.1% |
| | 菊川茶がPRされていると思う人の割合 | 58.4% | 58.4% | | | 62.6% | 23年度 | 93.3% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| ちゃこちゃんオリジナル茶袋販売枚数 | 190,238 | 205,573 | | | 260,000 | 23年度 | 79.1% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 茶園管理経営体発足数 | 1 | 1 | | | 3 | 23年度 | 33.3% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|---|-----------------------|
| | 建設経済部 茶業振興室 | 建設経済部 茶業振興室 茶業振興係 1/1 |
| | 【評価①】 平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | <p>ポジティブリスト制度施行や産地偽装などの問題から、食の安全の意識が高まるなかで、安全安心の農業生産は益々重要となってきた。</p> <p>菊川茶PRに関しては、富士山静岡空港内の呈茶コーナーの活用、国民文化祭開催により従来よりも広域的なPRがされてきているが、数年続いてきた茶価下落が収まらず、茶況は好転していない。</p> | |
| 【評価②】 平成22年度取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>安全安心の菊川茶生産のために、生産工程管理体制を明文化するT-GAP制度による認証取得を推進する。</p> <p>菊川茶のPR事業については、新たに小学生(4~6年)を対象としたお茶の知識・お茶の淹れ方の実技を競うイベントや、県外から消費者を招き菊川茶のPRをする事業、世界お茶まつりへの出展、深蒸し菊川冷茶を飲もう10,000人キャンペーン等により市内外に向けてPR活動を実施する。</p> | | |
| 【評価③】 平成23年度取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| <p>「安全安心なお茶づくり」取り決め事項による指導を徹底する。また、T-GAP制度による認証取得工場に関しては、それぞれの生産管理工程に基づく安全安心の菊川茶生産を推進する。</p> <p>菊川茶のPRに関しては、今年度の実績、効果を確認する中で新たなPR事業を展開する。</p> | | |



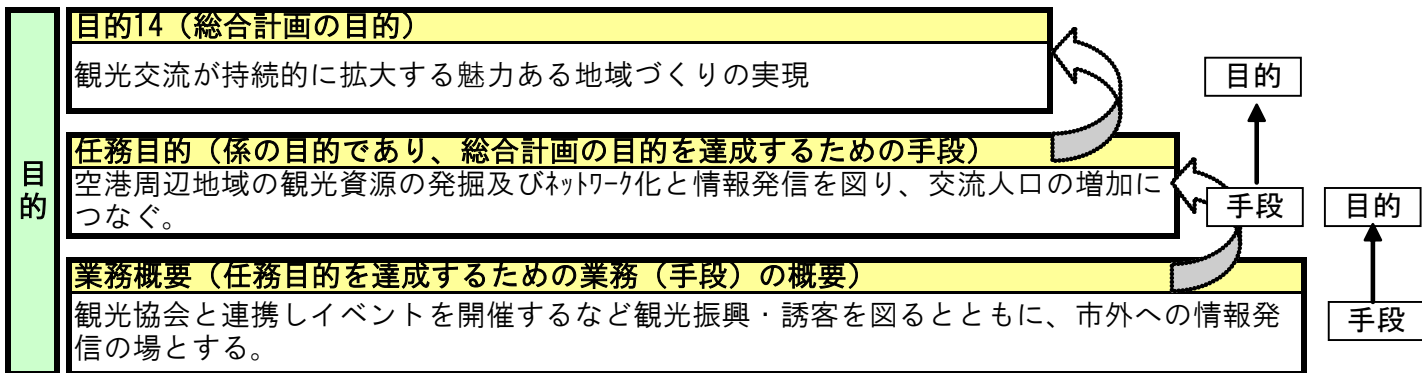
| | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 魅力と活気のある商店街があると思う人の割合 | 18.6% | 19.3% | | | 29.7% | 23年度 | 65.0% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 小売業年間販売額（億円） | 441.7 | 441.7 | | | 481.5 | 23年度 | 91.7% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 地元購買率 （平成18年度調査） | 47.2% | 47.2% | | | 55.0% | 23年度 | 85.8% | |

| | | |
|--|---|---|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 建設経済部 商工観光課 | 関連する業務棚卸表（個表） 建設経済部 商工観光課 商工係 1/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | <p>商店街組合も商工会と連携し夜店市や歳末スタンプラリーなど集客事業を実施しているが、目立った効果は見られない。また、補助金の見直しによる駅南商店街組合及び連絡協議会への補助金が平成21年度をもって廃止した。緊急経済対策事業としてプレミアム商品券を2回発行し数日で完売した。商品券の利用状況も順調で、大型店での利用が多かったものの、2億円余りが市内で消費されたことは大きな経済効果があったものと思われる。</p> | |
| 【評価②】平成22年度を取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| <p>既存商店街については、商工会と連携し組合の組織強化や個店の経営改革に向けた育成支援を目指す。商工会館建設を契機に商工会、観光協会、地域団体等が共同し、定期的なイベント、物産展を開催し、地場製品の販売促進など地域経済の活性化を支援する。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度を取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| <p>引続き、既存商店街については、商工会と連携し組合の組織強化や個店の経営改革に向けた育成支援をすると共に、商店街の活性化と地域のにぎあいの形成のために、空き店舗等を活用した新たな事業展開の検討を行う。また、地域経済の活性化のため商工会、観光協会、地域団体等が共同し、定期的なイベントや物産展を開催し、地場製品の販売促進などを今後も支援する。</p> | | |



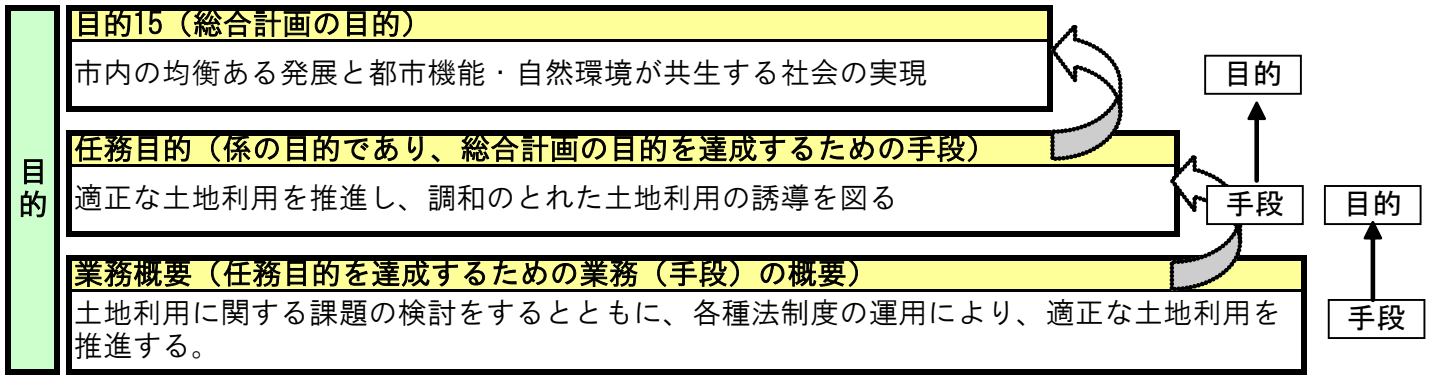
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|---------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|--------|--------|
| | 企業進出が多く、働く場所が充分にあると思う人の割合 | 29.5% | 28.3% | | | 31.5% | 23年度 | 89.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 製造品出荷額（億円） | 2,907 | 2,929 | | | 2,900 | 23年度 | 101.0% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 製造事業所数 | 188 | 228 | | | 190 | 23年度 | 120.0% | |

| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|---|--|---------------------|
| | 建設経済部 商工観光課 | 建設経済部 商工観光課 商工係 2/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 平成20年秋以降の経済不況により、市内各企業においても多大な影響が出ている。ミクロ菊川は企業解散、ミクニパーテック、ミツバ、ちば製作所は事業所閉鎖、その他の企業も大変厳しい経営状況である。平成21年夏以降、回復傾向は見られるものの以前として企業及び従業員の不安は大きい。企業進出においては、現在においても非常に少ない状況である。 | |
| 【評価②】平成22年度を取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 経済不況により企業の体力は減少し、新たな企業進出に二の足を踏む状態である。高価な用地の需要は低下傾向にあり、遊休地及び企業撤退跡地など安価な用地に注目が集まると思われる。引き合いの少ないこの時期に新たな用地情報に努める必要がある。 | | |
| 【評価③】平成23年度を取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引続き、遊休地及び企業撤退跡地など安価な用地情報の提供に努めると共に、企業誘致を目指して、市内経済の安定と活性化に繋げていく。 | | |



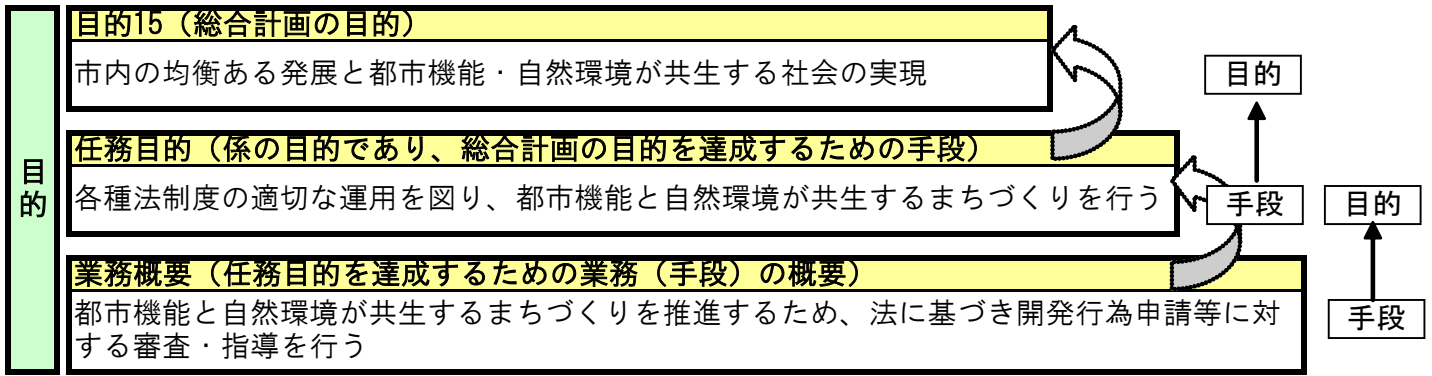
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------------------------|-----------------------|---------|---------|-----|--------|---------|-------|-------|
| | たくさんの観光客が訪れていると思う人の割合 | 14.8% | 13.5% | | | 13.8% | 23年度 | 97.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 観光交流客数 | 266,286 | 266,229 | | | 277,000 | 23年度 | 96.1% |
| | 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 菊川市観光イベント「FODORA THE 菊川」来場者数 | 12,000 | 13,000 | | | 15,000 | 23年度 | 86.7% | |

| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|--|---|---------------------|
| | 建設経済部 商工観光課 | 建設経済部 商工観光課 観光係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | <p>景気低迷が続く中、観光客・宿泊利用者など市内の観光産業への影響は厳しい現状にあり、観光交流客数にも変化が表われている。また、静岡空港も開港後1年が経過し、全国の地方空港の厳しい現状のなかで利用促進等に取り組み目標には達しなかったものの成果をあげているが、周辺地域への目立った影響はまだ見られない。</p> | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| <p>静岡空港を核として組織されている周辺9市町の観光振興研究会では、空港就航先の韓国（仁川）、北海道、福岡、小松（金沢）において地場産品、観光のPR活動などを積極的に実施した。また、周辺市町が連携し新たな観光資源の発掘や広域的な観光、宿泊ルート作りの研究にも取り組んでいる。</p> <p>小菊荘については、4月より指定管理者による運営管理が開始され、経費の節減、市民サービスの向上、利用促進及び地域経済の活性化を目指している。また、隣接の蓮池公園、小菊荘グラウンドの施設管理も指定管理者に一括委託し、小菊荘の利用拡大にもつながるものと期待する。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| <p>広域的な連携の強化を図るため、静岡空港を核として組織された周辺9市町の観光振興研究会による新たな観光資源の発掘や広域的な観光ルート作りを検討する。また、各種キャンペーン等を活用した観光PR活動にも積極的に取り組み、観光交流客数の増加を目指す。</p> <p>小菊荘については、指定管理者による施設の適正な運営管理を注視し、利用促進を支援する。</p> | | |



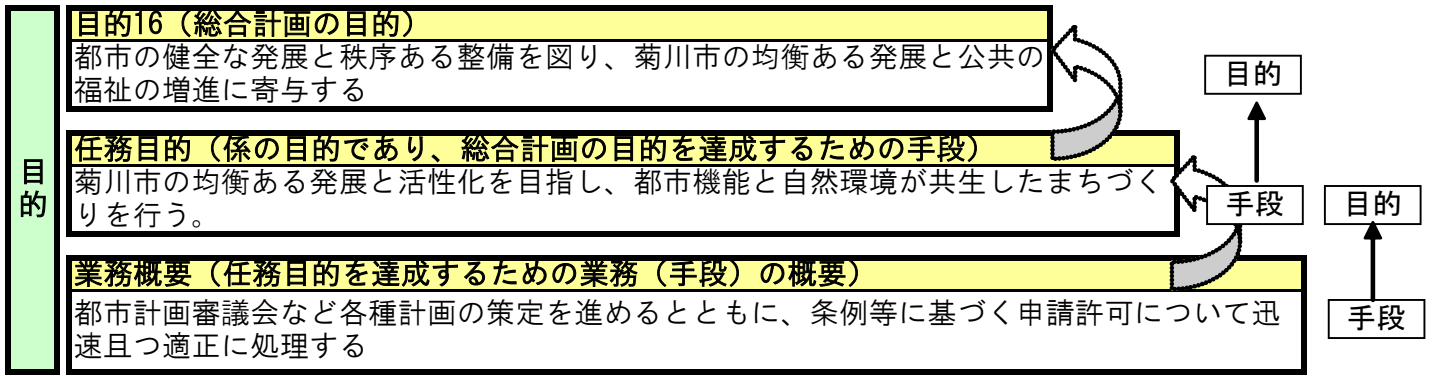
| | | | | | | | | |
|------------------|---------------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 調和のとれた土地利用が進められていると思う人の割合 | 46.2% | 48.2% | | | 38.2% | 23年度 | 126.2% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |

| | | |
|--|---|----------------------|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
| | 総務企画部 企画政策課 | 総務企画部 企画政策課 企画係 3/8 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | <p>H21年1月に策定された菊川市国土利用計画に沿って土地利用を進められるよう、庁内各課と調整協議を行っている。その結果、調和のとれた土地利用が進められていると思う人の割合は増加傾向にある。しかしながら、耕作放棄地の増加、良好な林地の保全・管理などが困難な状況において、農業地域では点状的な土地の利用転換が行われ、用途地域の活用が進まず、適切な土地利用の傾向が図られない傾向にある。また、今後、菊川駅北部や掛川浜岡線バイパス周辺部の土地利用転換事業が予測されることから、十分な協議調整が必要となっている。</p> | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| <p>保全と活用の区域を明確にするとともに、自然環境と都市機能が調和した土地利用を推進するため、開発行為の指導・許可などについて、都市計画課と企画政策課の両課で、各種法制度の適切な運用を図るなど共同して土地利用対策に取り組んでいる。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| <p>引き続き、市内の均衡ある発展と都市機能と自然環境が共生するまちを目指すため、各種法制度の適切な運用を図りつつ、自然環境を保全する区域と市街地や地域活性化等に活用する区域など土地利用計画を策定し、調和のとれた土地利用の誘導を図ることに努める。また、事務の効率化のため、都市計画課と企画政策課が担っている土地利用対策の事務を一元化するように検討を進めていく。</p> | | |



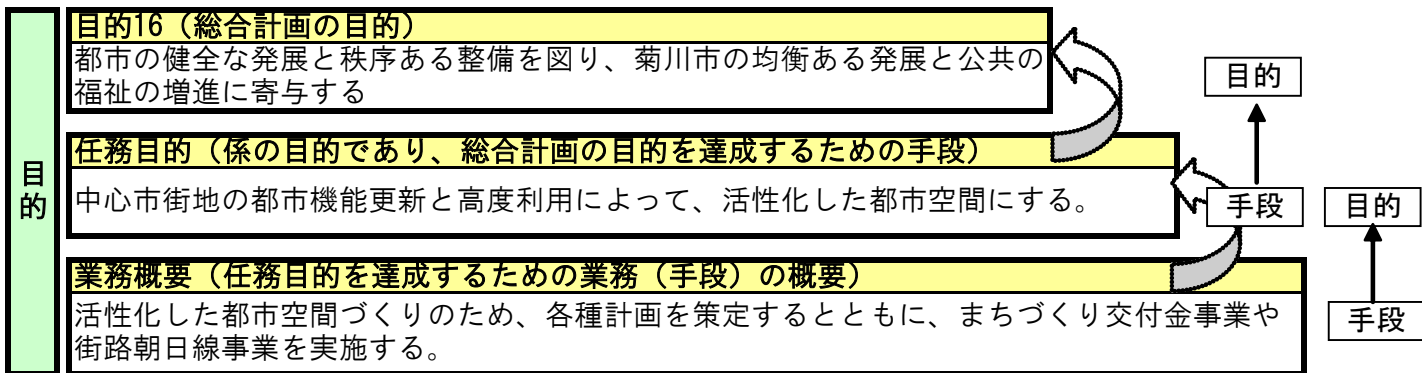
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|---------------------------|--------|--------|-----|-----|--------|------|--------|
| | 調和のとれた土地利用が進められていると思う人の割合 | 46.2% | 48.2% | | | 38.2% | 23年度 | 126.2% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| | 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% |

| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|--|---|-----------------------|
| | 建設経済部 都市計画課 | 建設経済部 都市計画課 都市計画係 3/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、増加傾向にある。しかし現状では、耕作放棄地の増加、良好な林地の保全・管理などが困難な状況において、農業地域では点位的な土地の利用転換が行われ、用途地域の活用が進まず、適切な土地利用の傾向が図られない傾向にある。 | |
| 【評価②】平成22年度の実績（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 保全と活用の区域を明確にするとともに、自然環境と都市機能が調和した土地利用を推進するため、開発行為の指導・許可などについて、各種法制度の適切な運用を図っている。 | | |
| 【評価③】平成23年度の実績（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引き続き、市内の均衡ある発展と都市機能と自然環境が共生するまちを目指すため、各種法制度の適切な運用を図りつつ、自然環境を保全する区域と市街地や地域活性化等に活用する区域など土地利用計画を策定し、調和の取れた土地利用の誘導を図ることに努める。 | | |



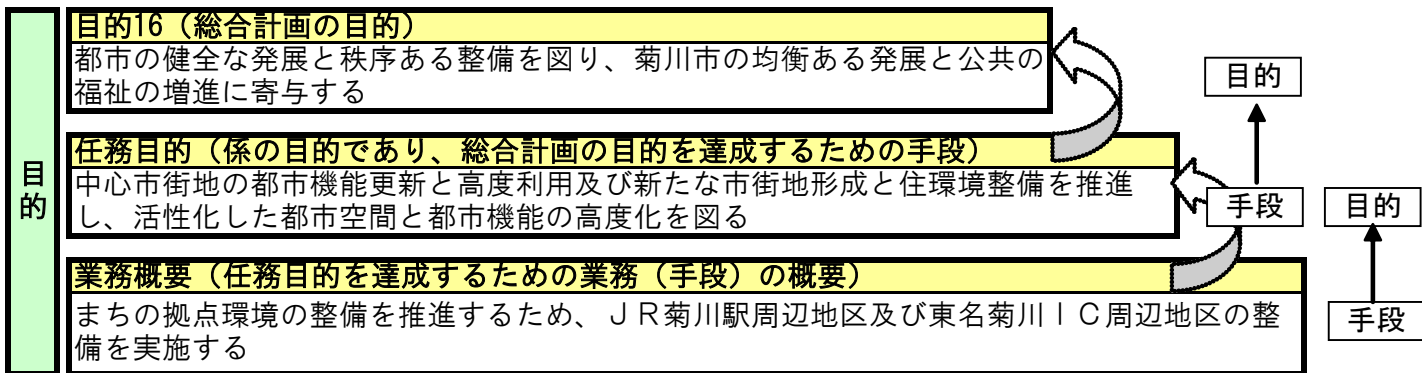
| | | | | | | | | |
|------------------|---------------------------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 駅やインター周辺、下平川周辺地区などの市街地がにぎわっていると思う人の割合 | 33.3% | 33.6% | | | 27.6% | 23年度 | 121.7% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |

| | | |
|---|---|-----------------------|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
| | 建設経済部 都市計画課 | 建設経済部 都市計画課 都市計画係 1/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、初年度実績と比較すると増加している。しかし現状では、市内の均衡ある発展と活性化を目指し、住環境や生活環境、防災機能の向上を含めた計画づくり、拠点性のある市街地形成や景観形成を図りつつ、都市機能の誘導を図ることが求められている。 | |
| 【評価②】平成22年度を取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 各種計画を策定する段階から関係市民との協働による検討を行いながら、菊川市のイメージ向上につながる地域づくりを推進するとともに、計画の策定を進めている。 | | |
| 【評価③】平成23年度を取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引き続き、各種計画の策定を進めるとともに、条例等に基づく申請許可について迅速且つ正確に処理する。 | | |



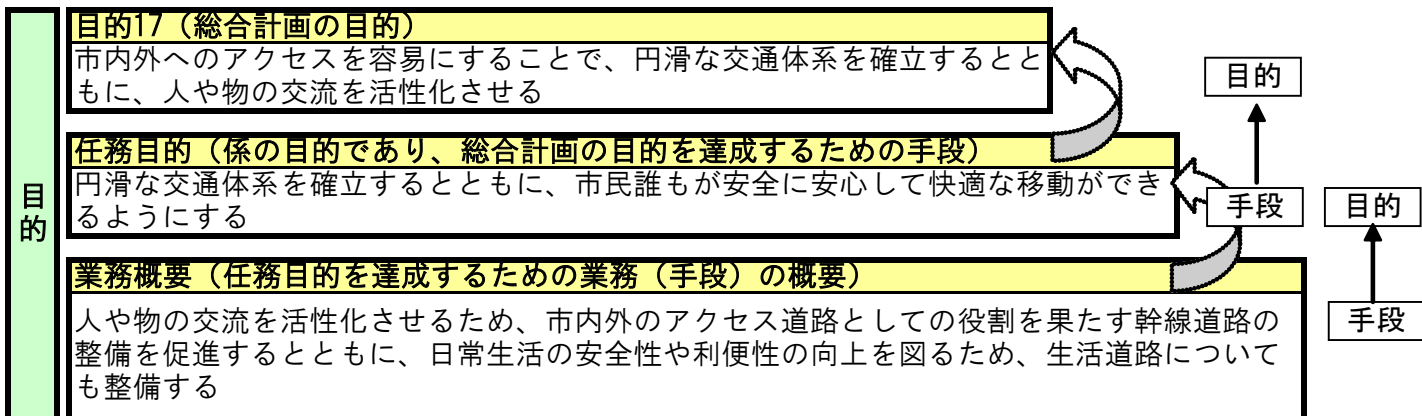
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|---------------------------------------|-------|-------|-----|-------|--------|--------|--------|
| | 駅やインター周辺、下平川周辺地区などの市街地がにぎわっていると思う人の割合 | 33.3% | 33.6% | | | 27.6% | 23年度 | 121.7% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 朝日線整備率 | 69.0% | 81.0% | | | 100.0% | 24年度 | 81.0% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 潮海寺狭隘道路整備率 | 38.1% | 41.0% | | | 36.8% | 21年度 | 111.4% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|--|-----------------------|
| | 建設経済部 都市計画課 | 建設経済部 都市計画課 都市整備係 2/2 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | 平成17年度に計画した6路線L=733mの整備については予定どおり整備され、実績としては10路線L=1,124mの道路整備を完了した。 JR朝日線こ道橋新設に伴う協定は平成21年度をもって完了し、軌道敷直下の躯体の築造は概ね完了した。 総合計画に管理指標である市民満足度(アンケート結果)については、初年度実績と比較するとやや増加している。 | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| 平成21年度をもって潮海寺地区は、まちづくり交付金による第一期整備計画が完了したが、まだ多くの地区計画路線に未整備箇所があり、地区全体としての指標が十分発揮されていない。 JRとの工事協定書に基づく用地の精算が残っており、平成23年度内に用地の精算を進める。 朝日線の本線の施工については、平成24年度末を目標に早期供用開始出来るよう進めていく。 | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| 街路朝日線事業は、平成24年度末の供用開始に向けて整備を進めます。 | | |



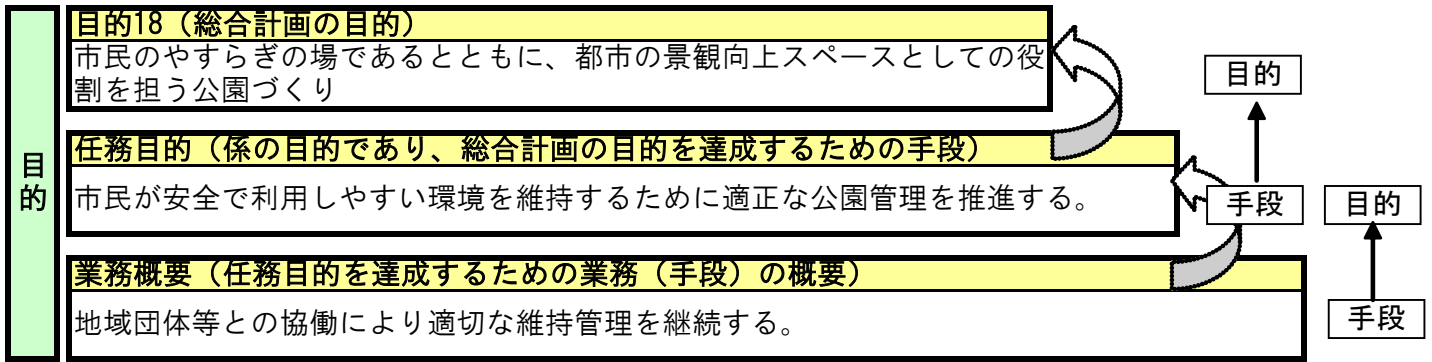
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|---------------------------------------|-------|-------|-----|-----|--------|------|--------|
| | 駅やインター周辺、下平川周辺地区などの市街地がにぎわっていると思う人の割合 | 33.3% | 33.6% | | | 27.6% | 23年度 | 121.7% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 土地区画整理面積 (完了面積 ha) | 125.2 | 125.2 | | | 138.8 | 23年度 | 90.2% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| | 土地区画整理進捗率 (駅南) | 98.0% | 99.0% | | | 100.0% | 23年度 | 99.0% |
| | 土地区画整理進捗率 (宮の西) | 74.0% | 82.0% | | | 100.0% | 26年度 | 82.0% |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|--|-----------------------|
| | 建設経済部 都市計画課 | 建設経済部 都市計画課 区画整理係 1/1 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | <p>「駅やインター周辺、下平川周辺地区などの市街地がにぎわっていると思う人の割合」は、やや増加傾向にある。これは、駅南区画整理の基盤整備がほぼ完了したことと、宮の西地内の掛浜バイパス沿道に商業集積が図られ、利便性と賑わいが高まったことによるものであると考える。今後はさらに市民満足度を高めるためには、昨年度供用開始した駅南の本通り線を中心とした商業の活性化が課題であると考える。</p> | |
| 【評価②】平成22年度取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>事業計画との整合を図り事業の早期完了を目指すなか、駅南地区については、建物移転補償と換地処分の準備作業を進めている。また、宮の西地区については、埋蔵文化財調査を早期に完了させ基盤整備を推進するとともに、保留地販売を促進し組合の安定的な財源確保に努めている。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| <p>引き続き、事業計画との整合性を図りながら、駅南地区の事業完了に向け事業を推進するとともに中心市街地の活性化を目指し、宮の西地区についても事業の早期完了を目指す。</p> | | |



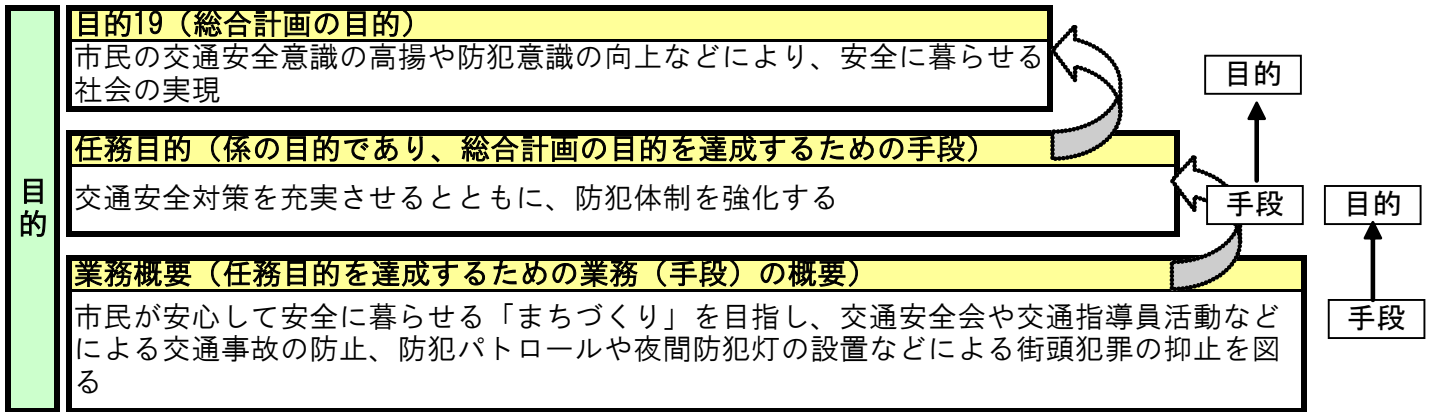
| 取り組んだ業務の成果 | 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|-----------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| | 市内外への移動に不満を感じていない人の割合 | 61.2% | 66.1% | | | 58.7% | 23年度 | 112.6% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 市道整備率 | 30.0% | 30.3% | | | 32.0% | 21年度 | 94.7% |
| 市道舗装整備率 | 70.1% | 70.4% | | | 71.0% | 21年度 | 99.2% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 掛浜バイパス進捗率 | 21.0% | 30.4% | | | 30.0% | 24年度 | 101.3% | |
| 公文名富田線進捗率 | 95.0% | 100.0% | | | 100.0% | 26年度 | 100.0% | |

| 評価 (プロセス評価) | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|---|--|-------------------|
| | 建設経済部 建設課 | 建設経済部 建設課 整備係 1/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) | |
| | <p>「市内外への移動に不満を感じていない人の割合」が増加傾向にある。これは、県道改良が進んできていることから、人や物の交流が活性化していること、市道公文名富田線の計画区間完成によるもの、舗装改築により走行性が向上した結果と考える。また、市道における円滑な交通体系の確立を目指し、限られた財源のなかで計画的に整備を進めているが、市道整備率及び舗装整備率においては目標達成は難しいと考える。なお、主要事業である掛川浜岡線バイパス事業においては整備が順調に進んでいる。</p> | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) | | |
| <p>緊急経済対策事業により今まで事業進捗が遅れていた市道牛淵谷田部線道路改良や市道赤土線歩道整備、市道内田加茂線歩道設置、横地本線歩道橋設置、公文名富田線改良工事が進められている。また、生活道路について地元調整を早期に行い整備を進めている。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) | | |
| <p>引き続き、主要事業である掛川浜岡線バイパス事業については整備目標年度に完成するよう関係機関と調整を行いつつ、整備を進めていく。なお、生活道路についても、必要な整備を進め、円滑な交通体系の確立を目指す。</p> | | |



| | | | | | | | | |
|-------------------|-------------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 公園、緑地が整備されており、市民の憩いの場となっている割合 | 61.1% | 58.8% | | | 58.5% | 23年度 | 100.5% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 都市公園整備率 | 56.1% | 56.1% | | | 59.2% | 23年度 | 94.8% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 自治会管理委託公園数 | 11 | 11 | | | 12 | 23年度 | 91.7% | |

| | | |
|--|--|-----------------------|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
| | 建設経済部 都市計画課 | 建設経済部 都市計画課 都市整備係 1/2 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| <p>条例で位置づけされている市内38公園について、適正な管理を実施するとともに、自治会への一部管理委託等の効果的な管理手法の検討を行う。</p> <p>総合計画の管理指標である市民満足度(アンケート結果)については、初年度実績と比較するとやや増加傾向にある。</p> | | |
| 【評価②】平成22年度 of 取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| <p>都市公園29箇所のうち19公園が地域に密着した街区公園である。現在、公園施設の実態調査を実施しており、施設管理の適正化を図り、19公園を最寄の自治会に一部管理委託することを目指し、効果的な手法について自治会と検討して行く。</p> | | |
| 【評価③】平成23年度 of 取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| <p>引き続き、地域住民の理解と協働による公園管理体制の確立を図るために、自治会等への支援方法の検討を行う。</p> | | |



| 目的 (総合計画) の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| 市内交通事故件数 | 369 | 395 | | | 343 | 23年度 | 86.8% |
| 交通安全対策が充実し、安全に道路を通行できると思う人の割合 | 53.8% | 57.6% | | | 52.4% | 23年度 | 109.9% |
| 防犯対策が充実し安心であると思う人の割合 | 57.7% | 60.7% | | | 52.9% | 23年度 | 114.7% |

| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|------------|-------|-------|-----|-----|------|------|-------|
| 交通安全教室受講者数 | 6,498 | 6,683 | | | 適正処理 | 21年度 | — |
| 街頭犯罪認知件数 | 252 | 201 | | | 239 | 23年度 | 84.1% |

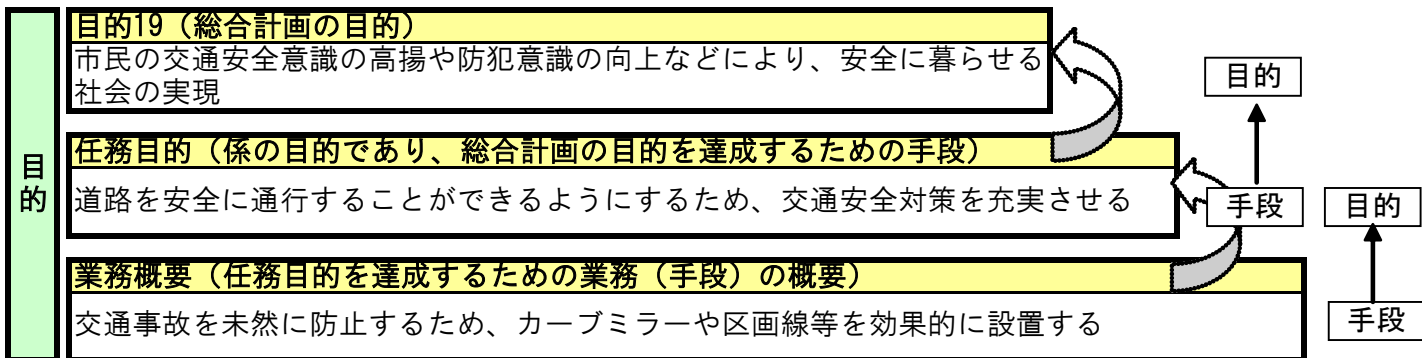
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|
| 交通安全教室開催回数 | 48 | 52 | | | 適正処理 | 21年度 | — |
| 防犯灯設置箇所数 (市設置全体数) | 366 | 442 | | | 適正処理 | 21年度 | — |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表 (個表) |
|-----------|---------------------|
| 総務企画部 安全課 | 総務企画部 安全課 交通防犯係 1/1 |

| 【評価①】平成21年度実績を分析 (「PDCA」の「C (評価)」に該当) |
|--|
| <p>近年の犯罪の特徴は、凶悪化や広域化、複雑化しており、犯罪の未然防止を警察だけに頼るのは困難さが増している。このため、市民・行政・警察が連携、協力するとともに、市民一人ひとりが、「地域の安全は地域で守る」という防犯意識の高揚が必要である。</p> <p>また、高齢者や子供の自転車等の事故が増加傾向にあるため、継続的な事故防止活動に努めている。</p> |

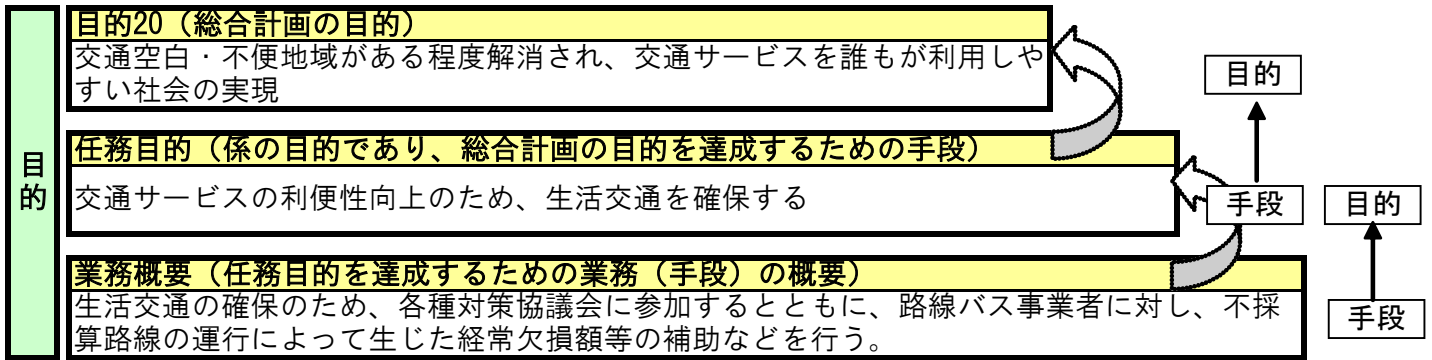
| 【評価②】平成22年度 of 取組 (前年度からの改善措置を踏まえて) |
|--|
| <p>防犯まちづくり条例を制定し、防犯意識の高揚のための啓発活動、犯罪発生情報の提供、市民の安全を確保するための防犯灯の設置などの環境整備を実施するとともに、地域防犯組織等による地域防犯活動を推進している。</p> <p>また、多発する交通事故を防止するため、交通安全会・交通指導隊などが中心となり高齢者移動交通安全教室、プロに学ぶセーフティー体験講座等の交通安全活動を実施している。</p> <p>市民の交通安全・防犯意識が高揚、向上するよう、関係機関が連携協力した安全安心まちづくり市民大会 (12月11日開催予定) を開催し、安全に暮らせる社会の実現を目指していく。</p> |

| 【評価③】平成23年度 of 取組 (「PDCA」の「A (改善)」に該当) |
|---|
| <p>引き続き防犯意識の高揚のための啓発活動や犯罪発生情報の提供、市民の安全を確保するための環境整備などを実施するとともに、地域防犯組織等による防犯活動の協力を地域にお願いし市内全域に広げていく。</p> <p>また、交通安全活動団体と連携し街頭指導や交通安全教室の開催などの交通安全活動を一層活発化し、市民の交通安全意識・防犯意識の高揚を図り、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを目指す。</p> |



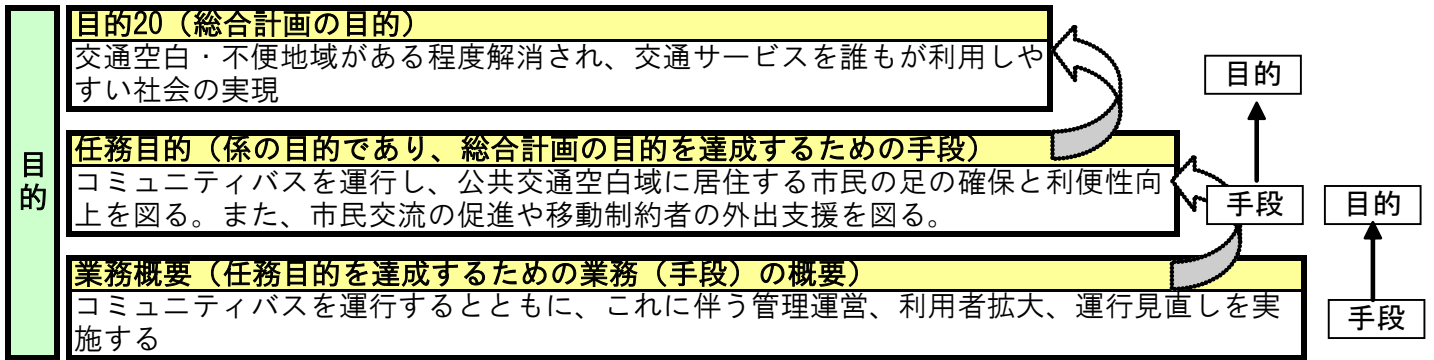
| 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|-------------------------------|--------|--------|-----|-----|--------|------|--------|
| 市内交通事故件数 | 369 | 395 | | | 343 | 23年度 | 115.2% |
| 交通安全対策が充実し、安全に道路を通行できると思う人の割合 | 53.8% | 57.6% | | | 52.4% | 23年度 | 109.9% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 採択率 （施行箇所／要望箇所） | 81.6% | 56.0% | | | 60.0% | 21年度 | 93.3% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|-------------------|--|
| 建設経済部 建設課 | 建設経済部 建設課 整備係 2/3 |
| 評価（プロセス評価） | <p>【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当）</p> <p>市内での交通事故件数は前年に比べ増加している。事故の内容を精査し安全に暮らせる社会の実現に向けて交通安全対策の強化を図る。</p> |
| | <p>【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて）</p> <p>高齢者による事故防止のため市内の区画線や矢印等が消えている箇所を引き直しをしている。また、道路の縁石部には反射材や自発光式反射材を設置して夜間でも縁石がわかるように対策をしている。</p> |
| | <p>【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当）</p> <p>交通事故件数を減らすため、事故内容を精査して道路に起因するものを改善していく。また、道路標識や区画線の設置、車両の速度を減速させる表示を行い、安全に走行する働きかけをする。歩行者の安全確保のため通学路にはグリーンベルトなどの表示を行い車両に注意を促す。</p> |



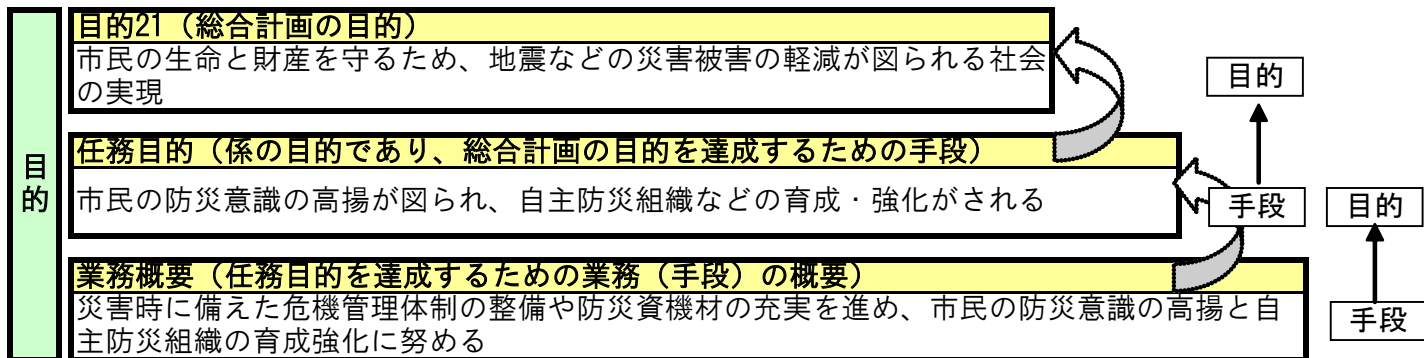
| | | | | | | | | |
|------------------|---------------------------------|-------|-------|-----|------|-------|--------|-------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 移動が困難な人に配慮した交通手段が確保されていると思う人の割合 | 43.5% | 43.5% | | | 47.2% | 23年度 | 92.2% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 路線系数 | 2 | 2 | | | 2 | 21年度 | 100.0% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 適正処理 | 適正処理 | 適正処理 | | | 適正処理 | 21年度 | 適正処理 | |

| | | |
|--|---|---|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 総務企画部 総務課 | 関連する業務棚卸表（個表） 総務企画部 総務課 行政係 2/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、前年度と同じ結果であった。今後も利用者の利便性を考慮した運行を更に展開していく必要がある。 | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 牧之原市・島田市・菊川市の3市による連絡調整会議を定期的で開催し、利用実績をもとに一部運行時間の見直しを図った。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 牧之原市・島田市・菊川市の3市による連絡調整会議を次年度も定期的で開催し、利用実績をもとに運行形態の見直しを図っていく。 | | |



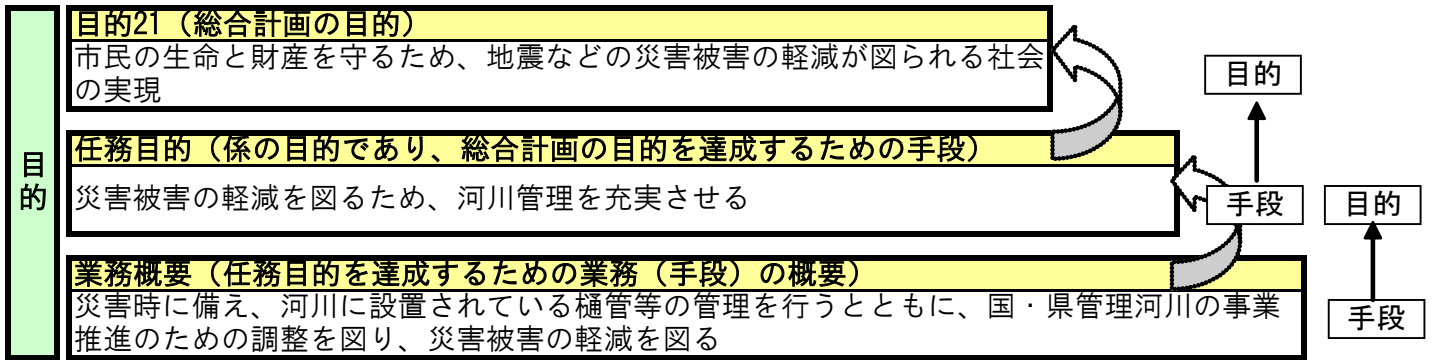
| 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|---------------------------------|------------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 平均利用者数（1日） | 131.7 | 127.1 | | | 140.0 | 23年度 |
| 移動が困難な人に配慮した交通手段が確保されていると思う人の割合 | 43.5% | 43.5% | | | 47.2% | 23年度 | 92.2% |
| 任務目的の成果指標 | | | | | | | |
| H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 平均利用者数（1便） | 4.4 | 4.2 | | 4.7 | 23年度 | 89.4% | |
| 業務概要の活動指標 | | | | | | | |
| H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 年間利用者数 | 32,000 | 30,633 | | 34,000 | 23年度 | 90.1% | |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
|---|-----------------------|
| 市民生活部 地域支援課 | 市民生活部 地域支援課 地域振興係 2/2 |
| 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| 公共交通空白区域の市民の移動手段を確保するコミュニティバス運行事業は、4.3%減となったが今年度はバス時刻表の変更を最小限にし、一部区間においてフリー乗車できるように変更した結果現時点で一日平均利用者数は約140人（平成22年9月末現在）で推移している。 | |
| 【評価②】平成22年度の取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | |
| 平成21年5月より開始したフリー降車区間をさらに拡大するとともにフリー乗車区間を新たに設置しさらなる利便性向上を目指している。庁舎内検討委員会を立ち上げ平成24年度以降の公共交通の再構築を図っている。 | |
| 【評価③】平成23年度の取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | |
| 庁舎内検討委員会での結果を公共交通会議等に関り、平成24年度以降の公共交通について方針を決定する。 | |



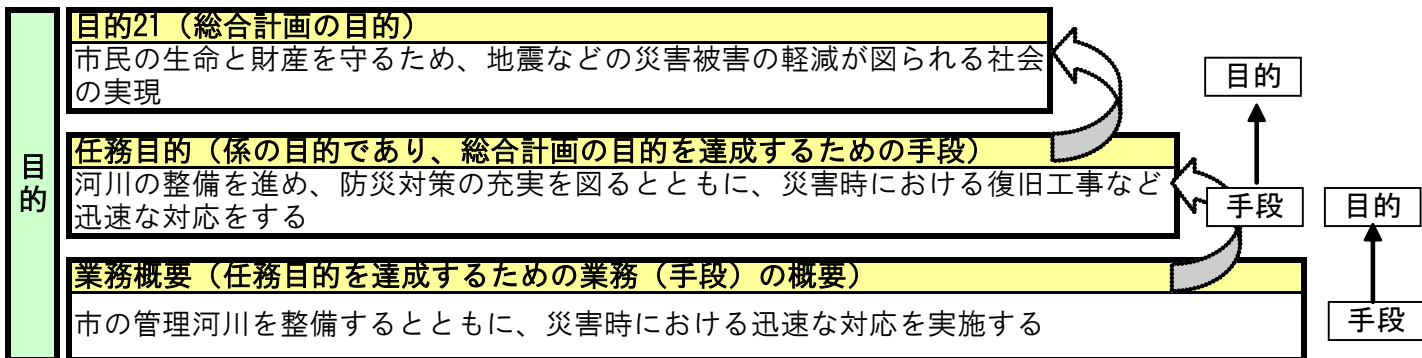
| 目的(総合計画)の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
|----------------------------------|-------|-------|-----|-----|-------|------|--------|
| まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合 | 51.2% | 54.9% | | | 50.0% | 23年度 | 109.8% |
| 被災時に有効に機能する自主防災組織が組織されていると思う人の割合 | 60.3% | 63.2% | | | 58.1% | 23年度 | 108.8% |
| 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 防災訓練に参加する人の割合 | 22.7% | 23.7% | | | 24.0% | 23年度 | 98.8% |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 防災訓練(12月)参集率(30分以内) | 45.0% | 88.0% | | | 50.0% | 21年度 | 176.0% |

| 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表(個表) |
|------------|--|
| 総務企画部 安全課 | 総務企画部 安全課 防災係 1/1 |
| 評価(プロセス評価) | <p>【評価①】平成21年度実績を分析(「PDCA」の「C(評価)」に該当)</p> <p>昨年8月に発生した駿河湾を震源とする地震発生から1年が経過し、発災後、防災に対する関心が高まっているが、一時的なものとならないよう、市民に対し、継続的な各種防災情報等の提供、周知が必要と考える。</p> |
| | <p>【評価②】平成22年度取組(前年度からの改善措置を踏まえて)</p> <p>昨年度立ち上げた各所属防災担当者会議は、今年度は既に2回開催し、各所属による訓練の実施に向け進んでおり、災害時における役割の再確認と防災意識の高揚が図られている。また、掲載内容が古く、旧町ごとに作成されていた防災マップについては、委託業務の発注を済ませ、各所属防災担当者や関係各課等と調整、協議し、市民に分かりやすいものを現在作成中である。</p> |
| | <p>【評価③】平成23年度取組(「PDCA」の「A(改善)」に該当)</p> <p>引き続き、市民の防災意識を高めるよう、自主防災会、防災指導員等と連携、強化を図り、情報提供をしていく。また、防災講演会等も引き続き開催し、各種防災情報を発信し、周知していく。</p> |



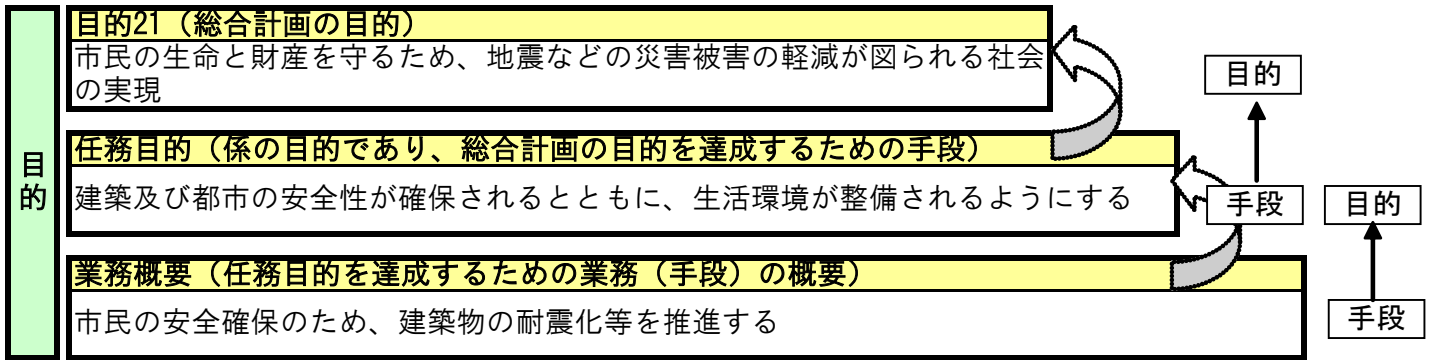
| | | | | | | | | |
|------------------|--------------------------|--------|-------|-----|--------|-------|--------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合 | 51.2% | 54.9% | | | 50.0% | 23年度 | 109.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 水害による人的被害者数 | 0 | 0 | | | 0 | 23年度 | — | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% | |

| | | |
|---|--|----------------------|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
| | 建設経済部 建設課 | 建設経済部 建設課 管理係 2/2 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 市内を流れる河川の主なものは、1級河川菊川とその支川で構成されており、国管理区間と県管理区間が存在し、県管理河川上流部を市が管理している状況である。管理においては、国の直轄区間では、日常的にパトロールが行われ管理されているが、それ以外の区間においては、地元住民による情報や陳情に頼っている状況である。また、樋門樋管の管理とも国や県は市に委託を行い、市は、地域住民の方々に操作等の管理をお願いしている。 | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 地域住民からの情報や要望を積極的に国や県に要望している。また、緊急時に迅速な対応ができるよう樋門樋管の操作や管理を地域住民の方々にお願いし、連携を図っている。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引き続き、地域住民からの情報や要望を積極的に国や県に要望していく。また、現状の樋門樋管の管理制度を維持していくとともに、リバーフレンドシップ等を推進して河川環境の維持にも努めていく。 | | |



| | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------------|--------|--------|-----|-----|--------|------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合 | 51.2% | 54.9% | | | 50.0% | 23年度 | 109.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 水害による人的被害者数 | 0 | 0 | | | 0 | 21年度 | 100.0% |
| | 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | 適正実施率 | 100.0% | 100.0% | | | 100.0% | 21年度 | 100.0% |

| | | |
|---|--|----------------------|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 | 関連する業務棚卸表（個表） |
| | 建設経済部 建設課 | 建設経済部 建設課 整備係 3/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 「まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合」については、増加傾向にある。しかし、河川に関する現状を鑑みれば、河川整備計画や近年増加しているゲリラ豪雨等に対する対策の検討推進が必要であると考えます。 | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 県管理河川である西方川改修工事の調整や市単独河川改修工事など市民の安心安全を図るための事業を計画的に推進している。なお、地域に密着した水路や河川の改修についても、限られた財源のなかで、計画的に推進している。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 島の川や奈良野排水対策について早期に対応をはかる。また、ゲリラ豪雨対策について国、県から情報を集め、近隣市などの対策状況を収集し、河川への雨水流入を抑制するための補助要綱について検討する。 | | |



| | | | | | | | | |
|------------------|--------------------------|-------|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| 取り組んだ業務の成果 | 目的（総合計画）の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| | まち全体の防災体制が強化されていると思う人の割合 | 51.2% | 54.9% | | | 50.0% | 23年度 | 109.8% |
| | 任務目的の成果指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 |
| 耐震化実施率 | 32.7% | 33.9% | | | 34.1% | 21年度 | 99.4% | |
| 業務概要の活動指標 | H20 | H21 | H22 | H23 | 目標値 | 期限 | 達成度 | |
| 広報紙掲載回数 | 1 | 1 | | | 1 | 21年度 | 100.0% | |

| | | |
|---|---|---|
| 評価（プロセス評価） | 評価担当部・課 建設経済部 都市計画課 | 関連する業務棚卸表（個表） 建設経済部 都市計画課 都市整備係 2/3 |
| | 【評価①】平成21年度実績を分析（「PDCA」の「C（評価）」に該当） | |
| | 総合計画の管理指標である市民満足度（アンケート結果）については、増加傾向にある。これは、昨年度発生した駿河湾沖地震により、市民の防災への意識が高まった結果と考える。現状では、昨年度の地震の影響を受け、耐震事業（TOUKAI-O事業等）への関心が高まっている。 | |
| 【評価②】平成22年度取組（前年度からの改善措置を踏まえて） | | |
| 建築及び都市の安全性を確保するため、耐震事業（TOUKAI-O事業等）について広報紙に掲載するなど、市民への積極的な情報提供を行いながら、建築物の耐震化等を推進している。 | | |
| 【評価③】平成23年度取組（「PDCA」の「A（改善）」に該当） | | |
| 引き続き、市民への積極的な情報提供等により、耐震事業を推進し、耐震化実施率を向上させながら、災害による被害の軽減を目指す。 | | |